

V2.02

User Manual

CMS

FuLSupo カメラ全共通

著作権表示

このマニュアルは、当社の書面による許可を前もって得ることなく、翻訳、変換、または翻案などの派生物を作成するためのいかなる形式または手段によっても複製することはできません。

当社は予告なしにこのマニュアルと仕様を変更する権利を留保します。すべての製品の最新の仕様およびユーザーマニュアルは、当社の公式 Web サイトで入手できます。

目次

1. 製品説明	1
1.1 製品紹介	1
1.2 主な特徴	1
1.3 システム要件	2
2. インストール	2
2.1 インストールガイド	2
2.2 ログイン/ログアウト	5
2.2.1 ログイン	5
2.2.2 ログアウト	6
3. 管理	7
3.1 端末管理	7
3.1.1 デバイスの追加	7
3.1.2 デバイスの削除または無効化	10
3.1.3 追加したデバイスの無効化	12
3.1.4 デバイスの編集	13
3.2 Device Config	14
3.2.1 NVR	14
3.2.2 カメラ	35
3.3 ユーザー	51
4. ビュー	52
4.1 ライブビュー	52
4.1.1 ライブビューインターフェース	53
4.1.2 ライブビューの表示設定	57
4.2 再生	62
5. ツール	65
5.1 電子地図	65
5.2 ログ	66
6. サービス	67
7. トラブルシューティング	69

1. 製品説明

1.1 製品紹介

Central Management System（以降 CMS と呼びます）ソフトウェアは、高精細度監視システムへのアクセスと制御を可能にします。この CMS は、ライブビュー、PTZ コントロール、魚眼レンズコントロール、ビデオ再生、モーション検知、アラーム受信、ログなど、さまざまな操作機能を提供します。

このユーザーマニュアルでは、CMS の機能、構成、操作手順について説明していません。CMS の適切な使用方法と安定性を確保するために、以下の内容を参照し、操作の前にマニュアルをよく読んでください。

ソフトウェアの最新バージョンは、当社の公式 Web サイトで入手可能になります。アップグレードについては、当社の公式 Web サイトを確認してください。

1.2 主な特徴

- ◇ カメラだけでなく NVR もサポート
- ◇ 1/4/8/9/16/36/64 チャンネルの同期再生をサポート
- ◇ 単一または複数チャンネルの全画面
- ◇ パーソナライズされたカスタムレイアウトのサポート
- ◇ 4 つのモニターとアラームスクリーン/フルスクリーン/ライブビュースクリーンをサポート
- ◇ カメラと NVR のビデオ/画像パラメータの変更をサポート
- ◇ H. 265 / H. 264 / MJPEG ビデオ圧縮
- ◇ デュアルストリーム対応
- ◇ 複数の PTZ 制御プロトコルをサポート
- ◇ モーション検知、アラーム録画、画像キャプチャ機能
- ◇ 設定でカメラをアップグレード

- ◇ 再生からの NVR ファイルのバックアップ
- ◇ 録画/アラームイン/アラームアウト/ビデオロス/モーションの設定機能
- ◇ 特定のユーザーに対する編集権限のサポート
- ◇ ライブビューの CPU / メモリ情報

※ ローリングシャッター方式の防犯カメラには、速く動く被写体を撮影した場合大きく歪み実際とは大きく異なる映像が出力される可能性があります。

※ 本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。

1.3 システム要件

OS : Windows 7/8/10 / Vista / Server 2008 / Server 2012

CPU : 2.6GHz 以上

メモリ : 2G MB 以上

グラフィックメモリ : 1G 以上

インターネットプロトコル : TCP / IP

2. インストール

2.1 インストールガイド

画面の指示に従ってインストールファイルを実行し、コンピュータにプログラムをインストールします。インストールが終了すると、スタートメニューまたはデスクトップにプログラムが表示されます。

ステップ1 : インストールするインストールファイルをクリックします。

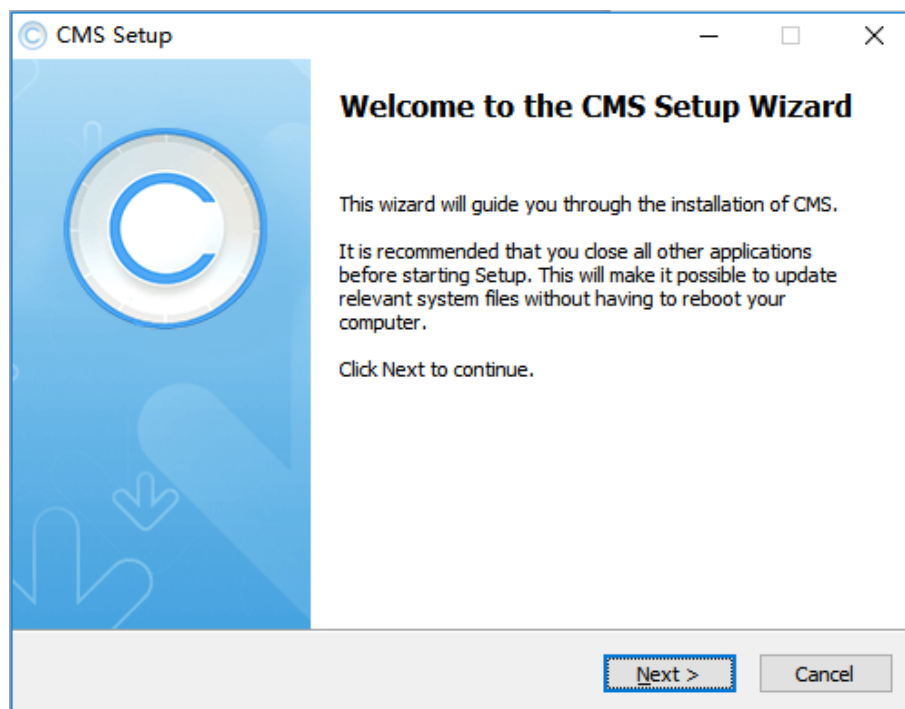


図 2-1-1 セットアップを開始

ステップ 2 : この CMS をインストールするフォルダを選択してください。

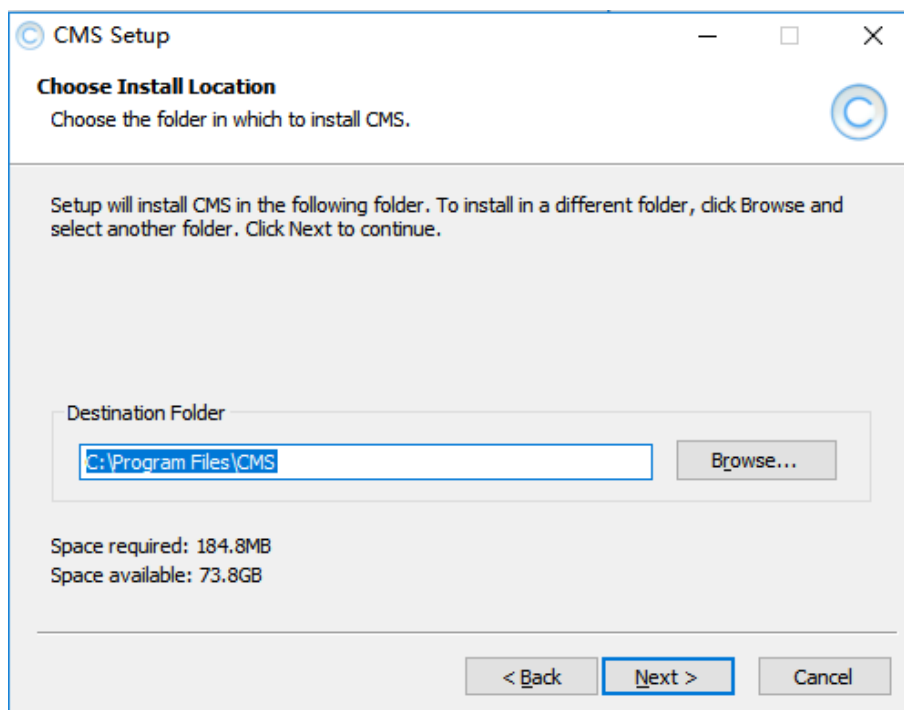


図 2-1-2 ファイルパスを選択

ステップ 3 : CMS の[スタート]メニューフォルダを選択します。

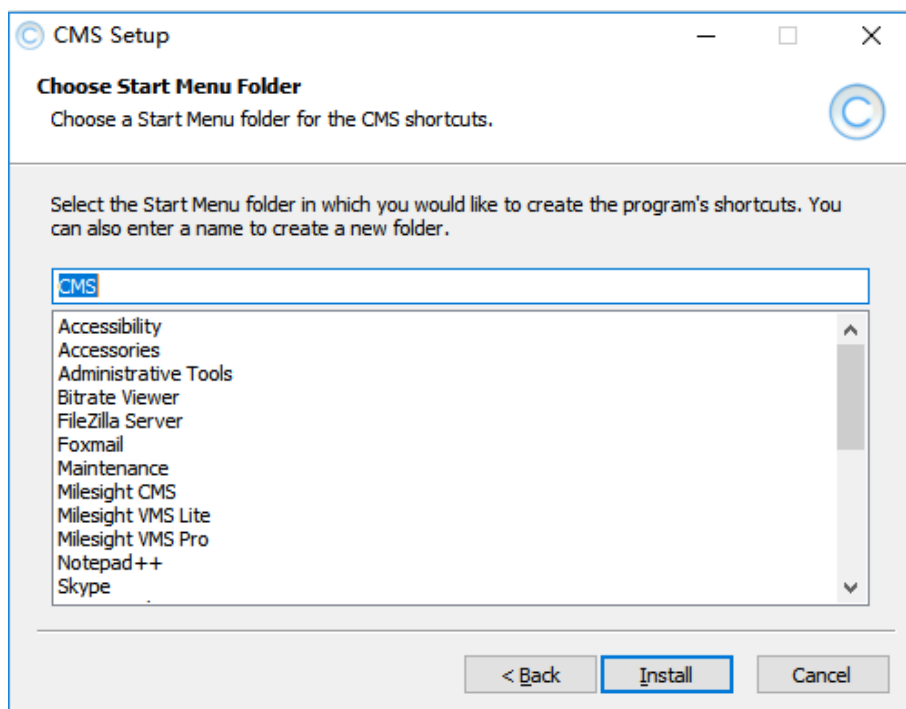


図 2-1-3 スタートメニューを選択

ステップ 4 : セットアップ完了。

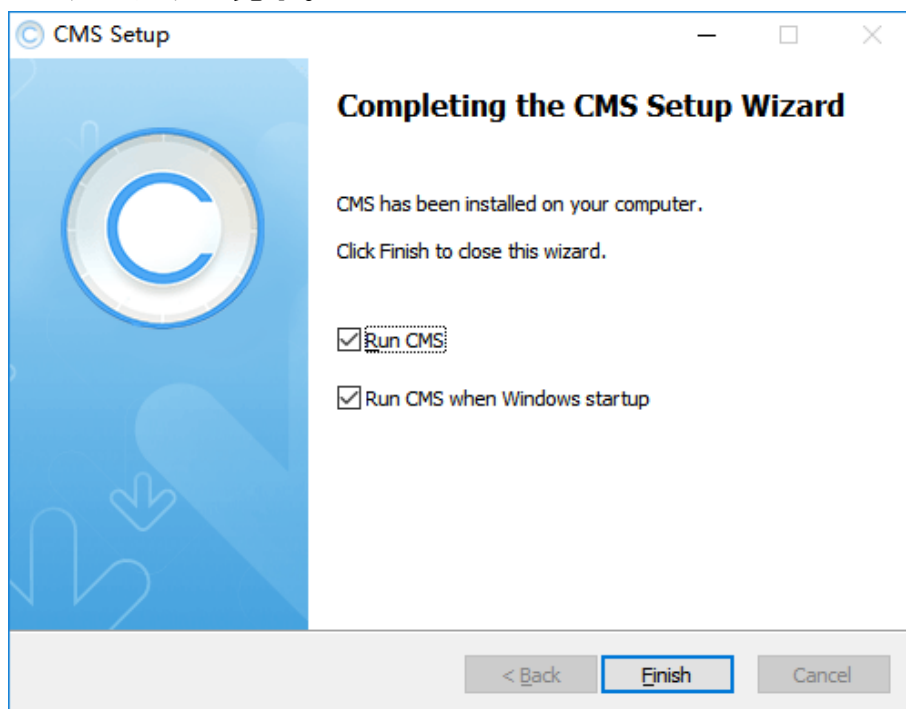


図 2-1-4 セットアップ完了

2.2 ログイン/ログアウト

2.2.1 ログイン

🔍をダブルクリックしてソフトウェアを起動し、ユーザーを選択してパスワードを入力します。デフォルトのアカウントはユーザー名が **admin**、パスワードが **password** です。チェックボックスをオンにしてパスワードを記憶してから、[自動ログイン]を選択して自動ログインすることができます。

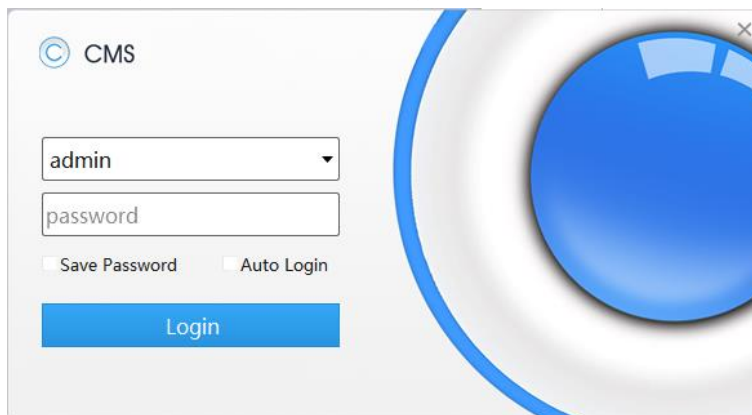


図 2-2-1 ログイン

システムにログインすると、以下のようにライブビューページが表示されます：

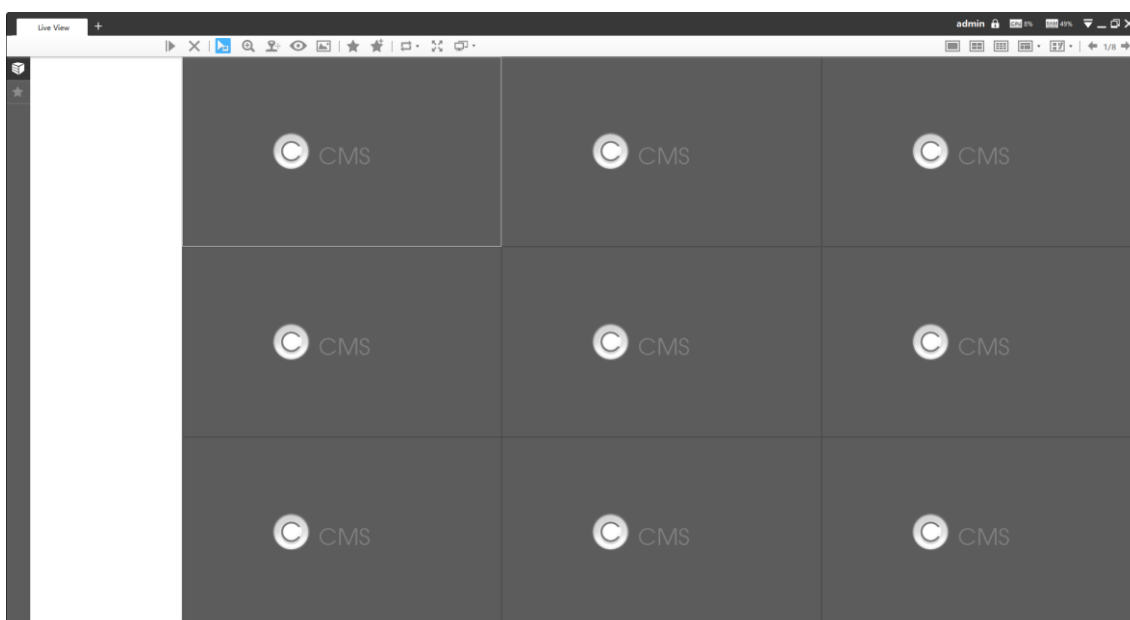















図 2-2-2 ライブビュー

そして右上のアイコンの意味は以下の通りです：

表 2-2-1 ライブビュー

項目	機能説明
	ユーザー名
	ボタンをクリックしてソフトウェアをロックします。またロックを解除するためにパスワードを入力する必要があります
	メニューボタン
	インターフェースを最小化
	インターフェースを元に戻す
	インターフェースを最大化
	ソフトウェアを閉じる
	左矢印/右矢印ボタンをクリックしたときに前のグループのカメラ/次のグループのカメラに切り替える
	PC のリアルタイム CPU の状態を確認する
	PC のリアルタイム RAM メモリを確認する

メニューボタンをクリックすると、インターフェースは以下ようになります：

 Configuration	言語、ログ保存期間、ビデオ保存パス、スナップショット保存パス、自動ログイン、Windows 起動時の CMS の実行、デュアルストリーム接続モード、高画質、アラームポップアップの有効化、高解像度ディスプレイの適応
 About	CMS の情報
 Logout	現在のアカウントからログアウトする
 Exit	ソフトウェアを閉じる

! 注意

- CMS は現在 9 つの言語をサポート：英語、簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語、ドイツ語、チェコ語、日本語、タイ語、アラビア語；
- デュアルストリーム接続モード：ストリームの切り替え速度を最適化するために有効にしますが、ネットワークへの負担を増やします。

2.2.2 ログアウト

をクリックして→[Log out]をクリックして現在のアカウントをログアウトするか、

またをクリックして CMS を閉じます。

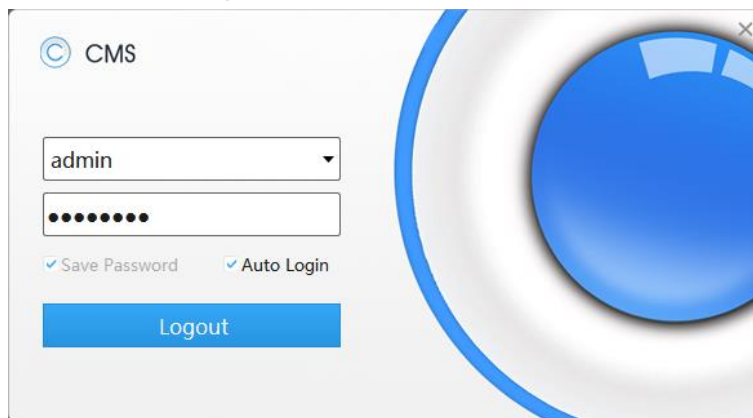


図 2-2-3 ログアウト

注意

- ログアウトするにはパスワードが必要です。

3. 管理

3.1 端末管理

この CMS は、効率的で便利な管理を得るためにカメラと NVR を追加するのをサポートします。デバイスはいつでも CMS から削除またはログアウトすることもできます。

3.1.1 デバイスの追加

デバイスを追加するには 2 つの方法があります。まず、追加ボタン **[+]→[Devices]** をクリックしてください。

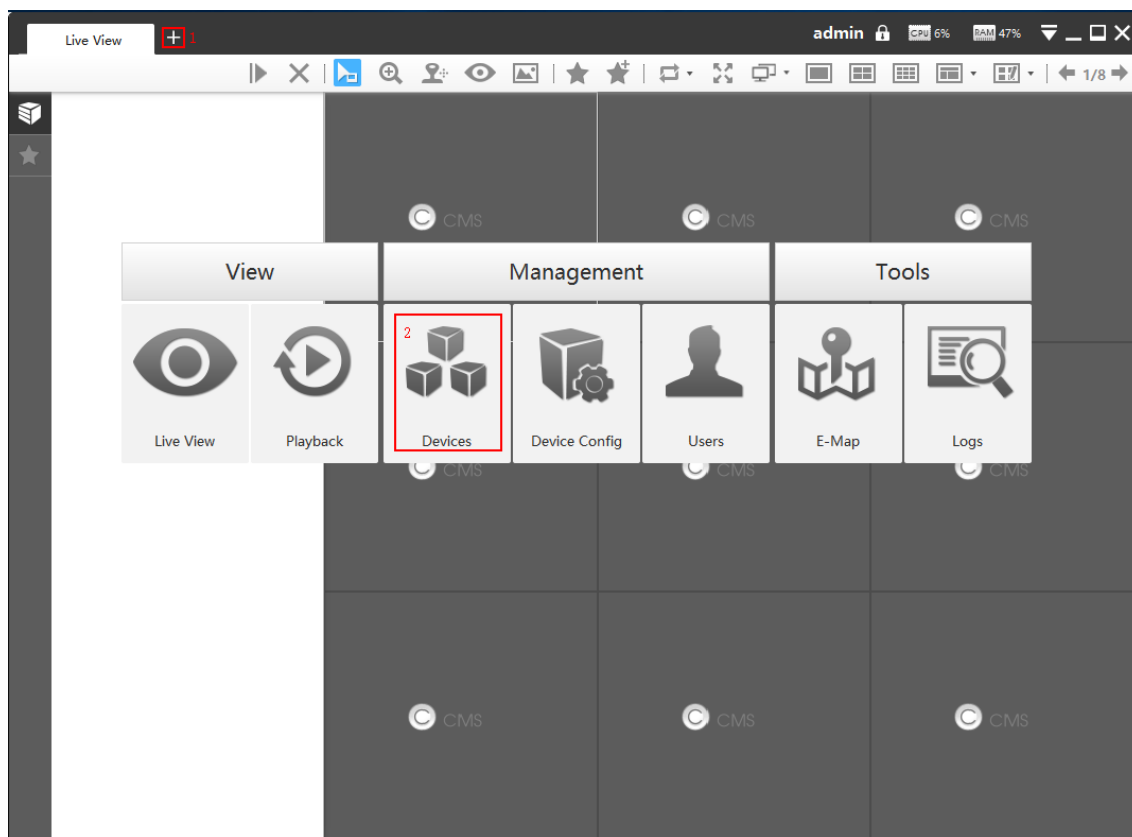


図 3-1-1 デバイスの追加

◆ 単一のデバイスを追加する

この CMS はデバイスを一つずつ追加することを提供します。以下の手順を参照してください。

ステップ 1: **+ Add Manually** ボタンをクリックしてください；

ステップ 2: デバイスのタイプを選択ください、“NVR” または “カメラ” ；

ステップ 3: デバイス情報を入力してください。

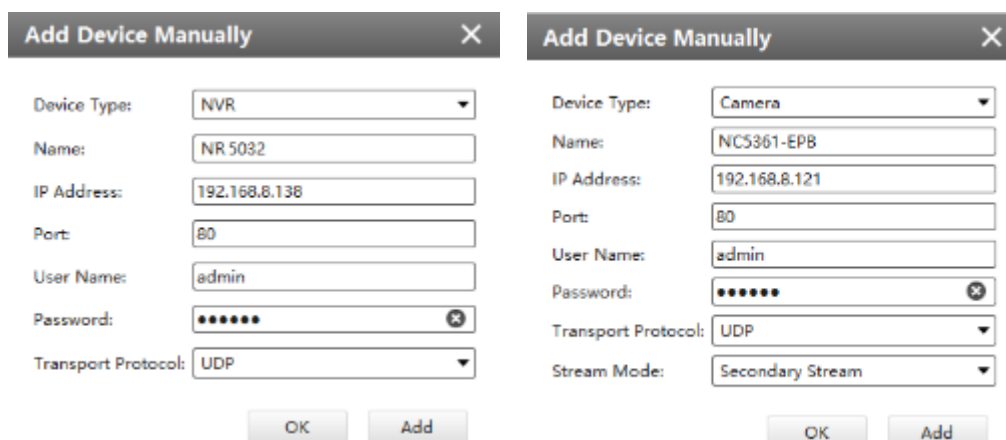


図 3-1-2 手動でデバイスを追加する

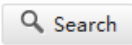
ページ上の項目の意味は表 3-1-1 を参照してください。

表 3-1-1 手動でデバイスを追加する

項目	機能説明
Device Type	カメラと NVR が選択可能
Name	デバイスの名前
IP Address	デバイスの IP アドレス
Port	デバイスのポート、デフォルトポートは 80
User Name	デバイスのユーザー名、デフォルトのユーザー名は “admin”
Password	デバイスのアカウントのパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは次のとおりです： 1. ネットワークカメラ: 123456 2. NVR: 123456
Transport Protocol	TCP と UDP がご利用可能
Stream Mode	「プライマリストリーム」と「セカンダリストリーム」の 2 つのオプションがあります

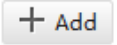
◆ 検索

この CMS は同じネットワーク内にあるデバイスを自動的に検索でき、同じユーザー名とパスワードを持つデバイスをまとめて追加できます。以下の手順を参照してください：

ステップ 1:  をクリックして同じネットワーク内のデバイスを検索します；

ステップ 2: デバイスを選択します；

ステップ 3: 選択したデバイスのユーザー名とパスワードを入力します。デフォルトのデバイスは次のとおり “admin” と “password” です；

ステップ 4:  をクリックして、デバイスが正常に追加されたかどうかを知らせるウィンドウがポップアップします。

ステップ 5: [OK] ボタンをクリックしてください；

ステップ 6: [Refresh] ボタンをクリックして、追加されたデバイスの状態を更新できます。

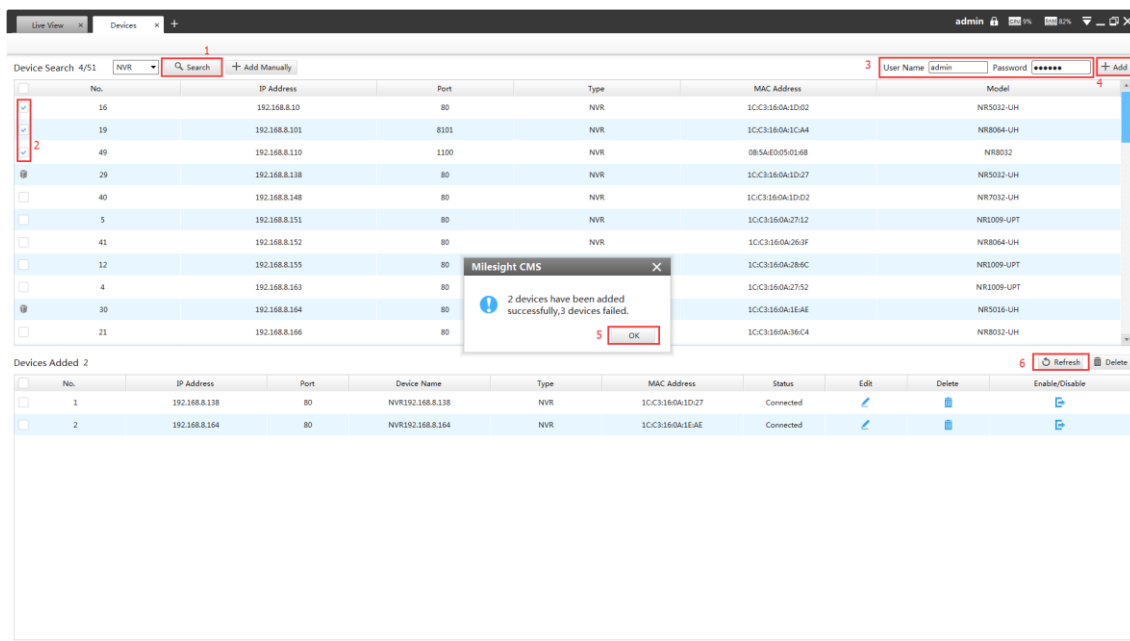


図 3-1-3 グループデバイスを追加

● 注意

- Refresh ボタンをクリックして、追加したデバイスの状態を更新する；
- No. ボタンをクリックして、見つかったすべてのデバイスを選択できます；
- 対応するボタンをクリックすると、デバイスは IP アドレス、ポート、タイプ、MAC アドレス、モデルでソートできます；
- 最大 64 台の機器を追加できます（カメラと NVR を含む）。

3.1.2 デバイスの削除または無効化

この CMS は単一/一括追加デバイスを削除できます。まず最初に、[Device Manage] を入力して次のステップに従ってください：

◆ 単一デバイスの削除

単一のデバイスを削除する手順は次のとおりです：

ステップ 1: ボタンをクリックしてから選択したデバイスをクリックします；

ステップ 2: ウィンドウが表示されたら、[OK] をクリックしてデバイスを削除するか、[Cancel] をクリックして操作を取り消します。

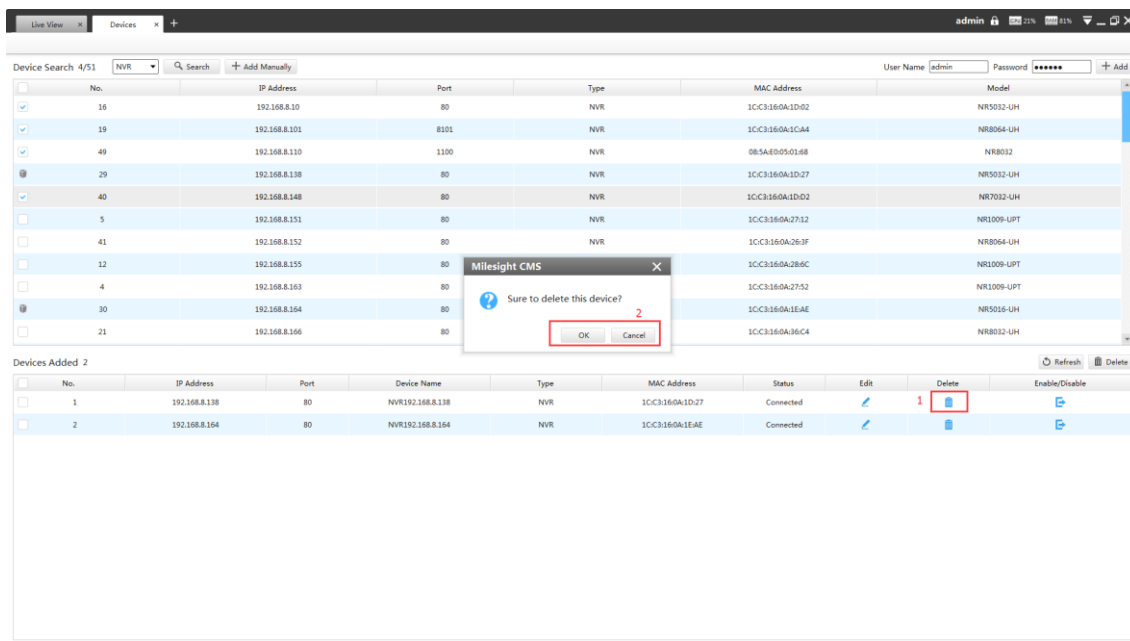



図 3-1-4 単一デバイスの削除

◆ グループデバイスの削除

グループのデバイスを削除する手順は次のとおりです：

ステップ 1: No. をクリックして追加されたすべてのデバイスを選択するか、チェックボックスをオンにして複数のデバイスを選択します；

ステップ 2:  Delete をクリックして選択したデバイスを削除します；

ステップ 3: ウィンドウが表示されたら、[OK] をクリックしてデバイスを削除するか、[Cancel] をクリックして操作を取り消します。

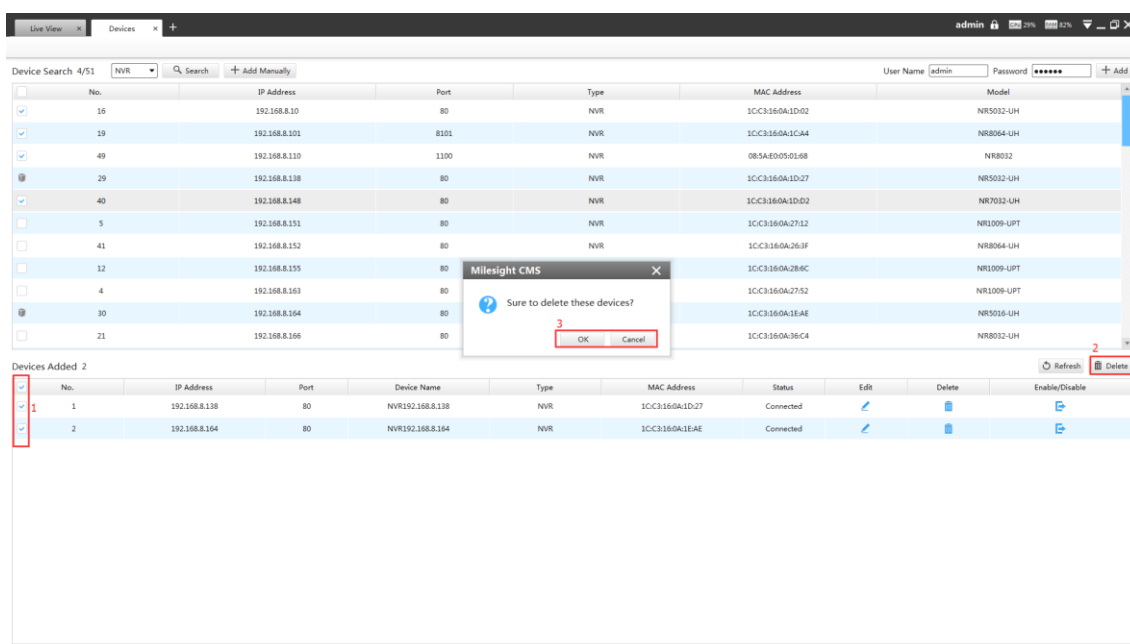


図 3-1-5 グループデバイスの削除

3.1.3 追加したデバイスの無効化

デバイスが再度必要になる場合に備えて、追加されたデバイスを削除せずに無効にすることができます。無効にすると、デバイスは現在無効になります。

👉 ボタンをクリックしてデバイスを無効にすると、アイコンが👈に変わります。

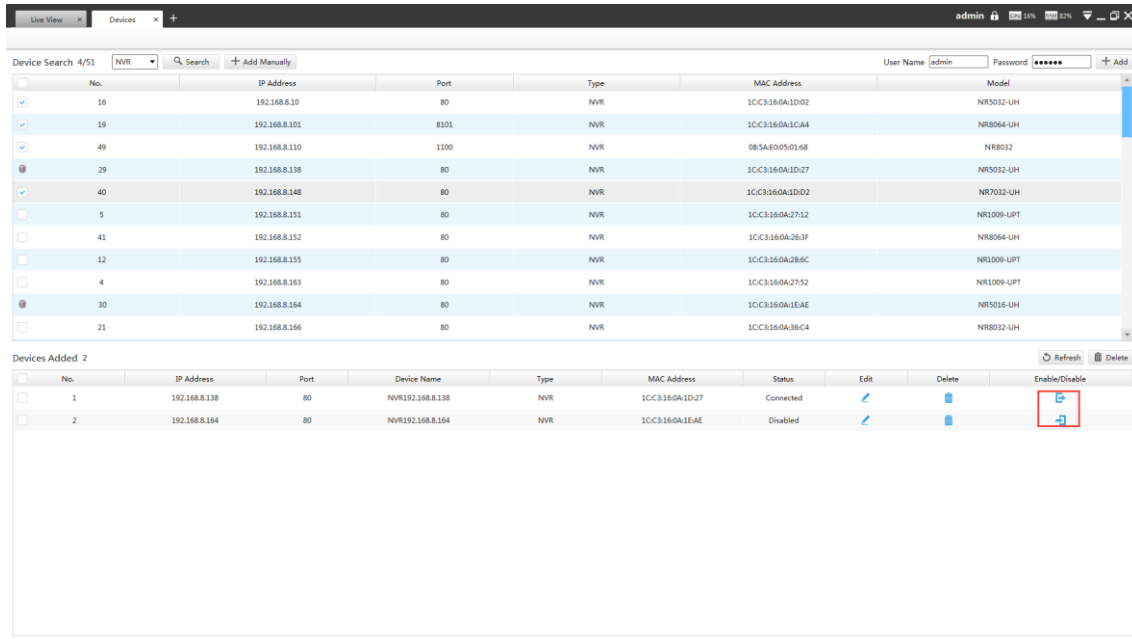



図 3-1-6 デバイス管理ページで、追加したデバイスの無効化

または、機器一覧の中で選択した機器を右クリックして、[Disable]を選択します。




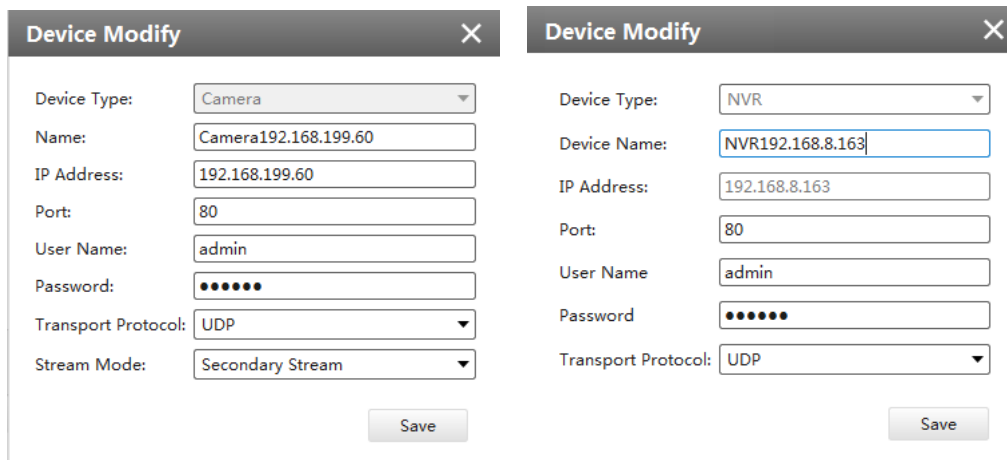
図 3-1-7 ライブビューページで、追加したデバイスの無効化

注意

- デバイス管理ページの  ボタンをクリックするか、ライブビューページのデバイスを右クリックして [Enable] を選択すると再度有効にできます。

3.1.4 デバイスの編集

追加したデバイスを編集するには、編集ボタン  をクリックします。デバイスタイプと IP アドレスを除くすべてのパラメータを編集できます。下記を参照してください：



Field	Left Dialog (Camera)	Right Dialog (NVR)
Device Type	Camera	NVR
Name	Camera192.168.199.60	
Device Name		NVR192.168.8.163
IP Address	192.168.199.60	192.168.8.163
Port	80	80
User Name	admin	admin
Password	••••••	••••••
Transport Protocol	UDP	UDP
Stream Mode	Secondary Stream	

図 3-1-8 デバイスの編集

パラメータの意味は表 3-1-1 を参照してください。

3.2 Device Config

Device Config には、NVR 用の Channel、Event、Record、System の各部分、および Camera 設定用の Video、Event、Record、System の各部分があります。

3.2.1 NVR

NVR 設定ページは以下のとおりです：

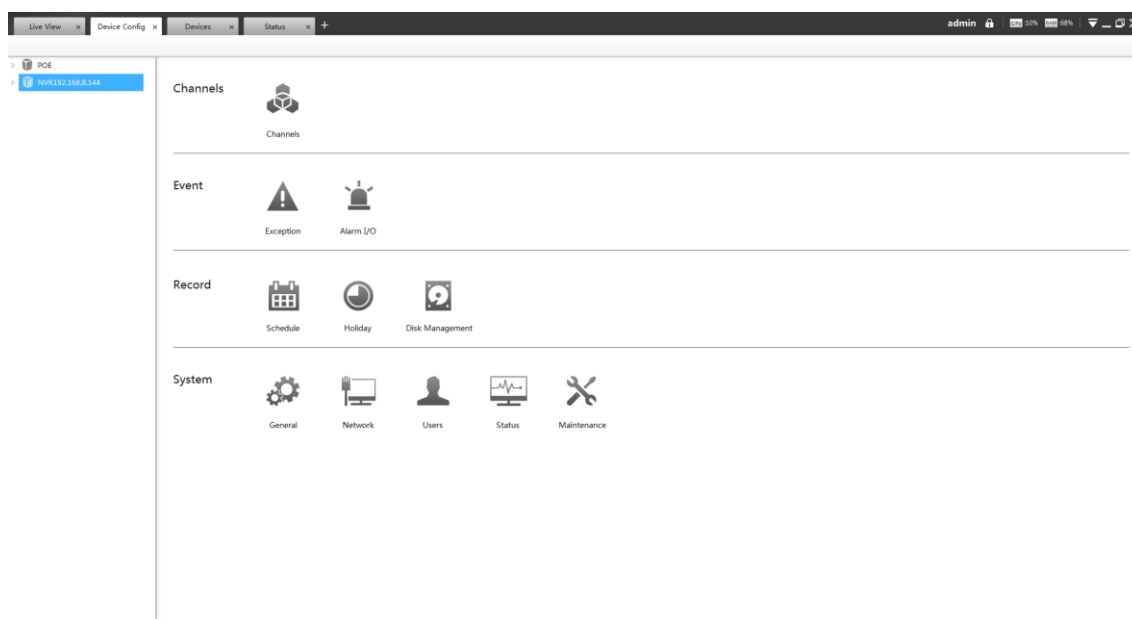


図 3-2-1 NVR ページ

3.2.1.1 チャンネル

チャンネル

チャンネル管理は、チャンネルの検索、追加、編集、削除機能を提供します。チャンネルの検索と削除については、第 III 章デバイス管理 3.1 デバイスの追加を参照してください。

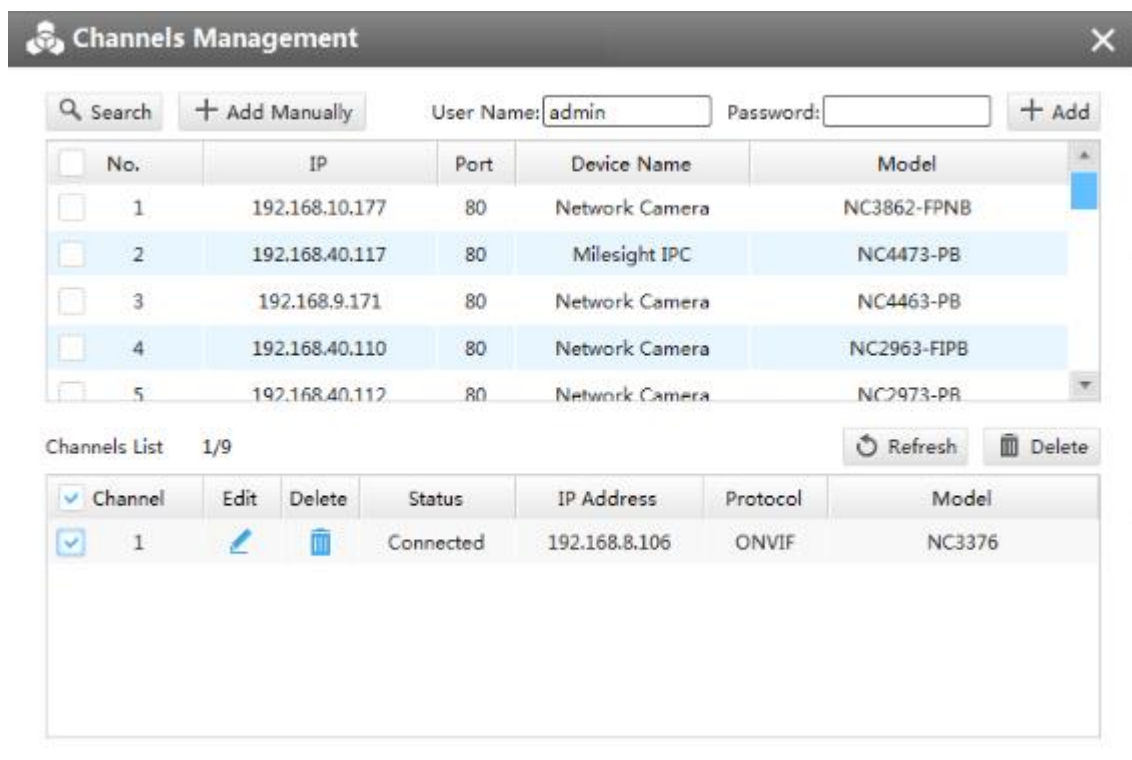


図 3-2-2 チャンネル管理

[チャンネルを追加する]

自動的に CMS によって検索されたカメラを追加することができます、そして手動で追加することによって、ONVIF と RTSP プロトコルを持っている第三者のカメラを追加することができます。

図 3-2-3 チャンネルを追加


ONVIF: ONVIF プロトコルに対応したカメラ ;

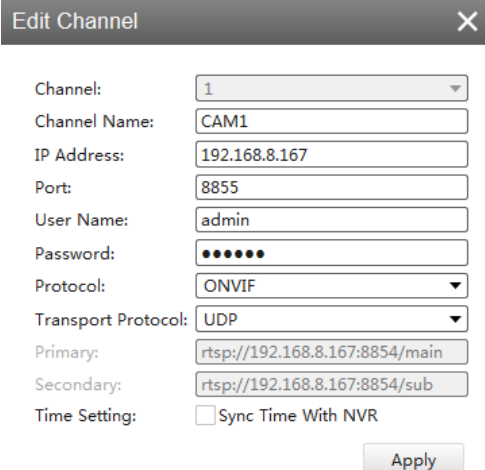
RTSP: 主要: rtsp://IP:Port/main

セカンダリー: rtsp://IP:Port/sub

(RTSP プロトコルのデフォルトポートは 554 です。)

[チャンネルを編集する]

手動で追加するときチャンネルを編集できます。またはボタン  をクリックして編集できます。



Channel: 1
Channel Name: CAM1
IP Address: 192.168.8.167
Port: 8855
User Name: admin
Password: ●●●●●●
Protocol: ONVIF
Transport Protocol: UDP
Primary: rtsp://192.168.8.167:8854/main
Secondary: rtsp://192.168.8.167:8854/sub
Time Setting: Sync Time With NVR
Apply

図 3-2-4 チャンネルを編集

3.2.1.2 事件

例外

[例外] ボタンをクリックすると、設定ウィンドウが以下のように表示されます:

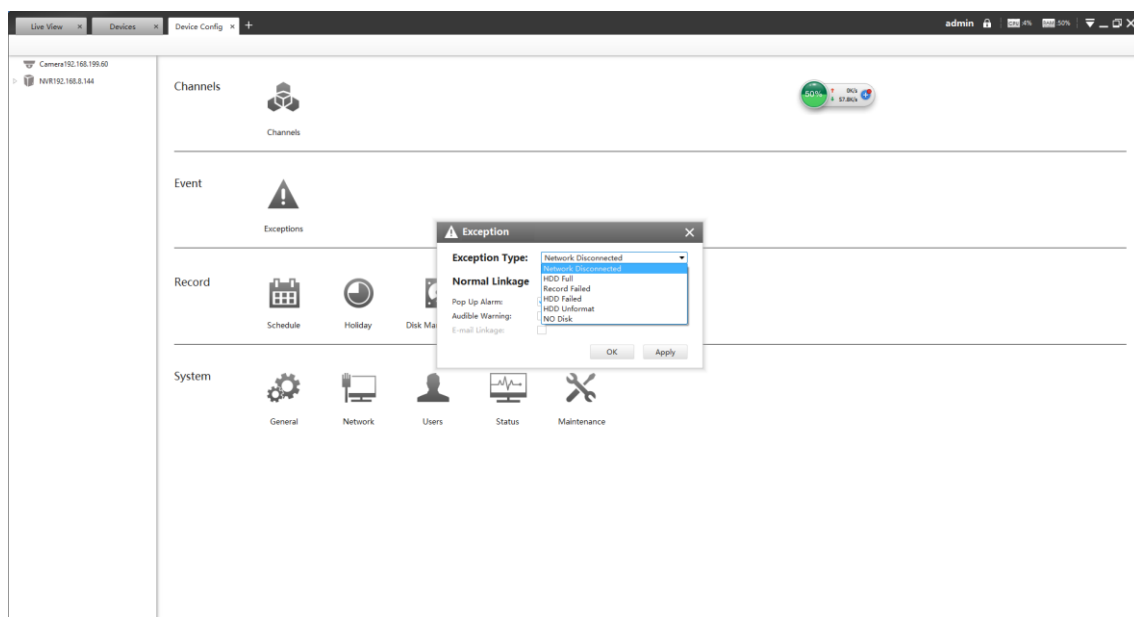
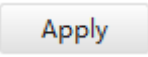


図 3-2-5 例外

[例外] ページの項目の意味は、下の表 3-2-1 を参照してください。

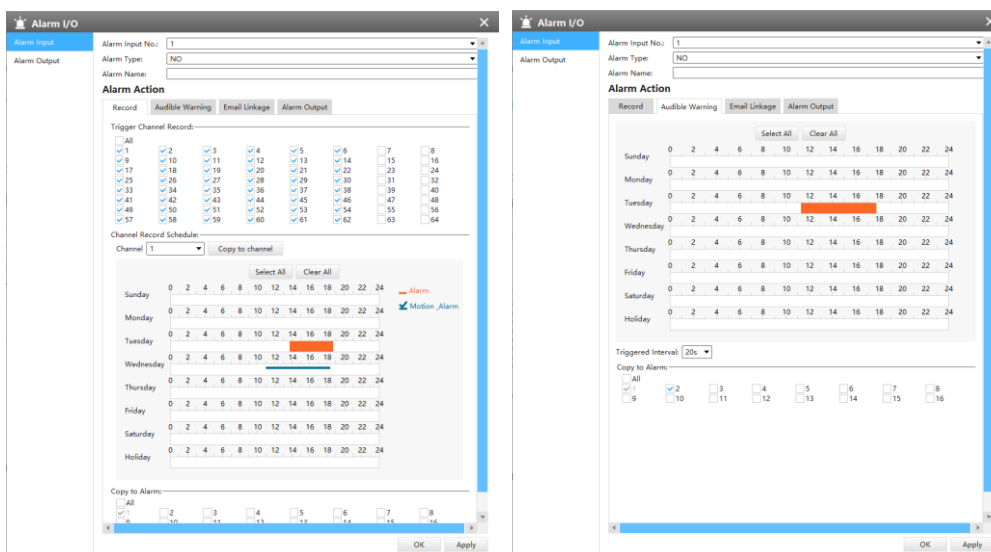
表 3-2-1 スケジュール

項目	機能説明
Exception Type	「ネットワーク切断」、「HDD フル」、「記録失敗」、「HDD 失敗」、「HDD 未フォーマット」、「ディスクなし」があります。
Normal Linkage	ポップアップアラームを有効または無効にする
	警告音を有効または無効にする
	E メール連絡を有効または無効にする

設定が完了したら、[適用] ボタン  をクリックして設定を CMS ソフトウェアに適用できます。

アラーム入力/出力

Alarm I / O ボタンをクリックすると、以下のように設定ウィンドウがポップアップ表示されます。アラームの入出力設定を変更できます。



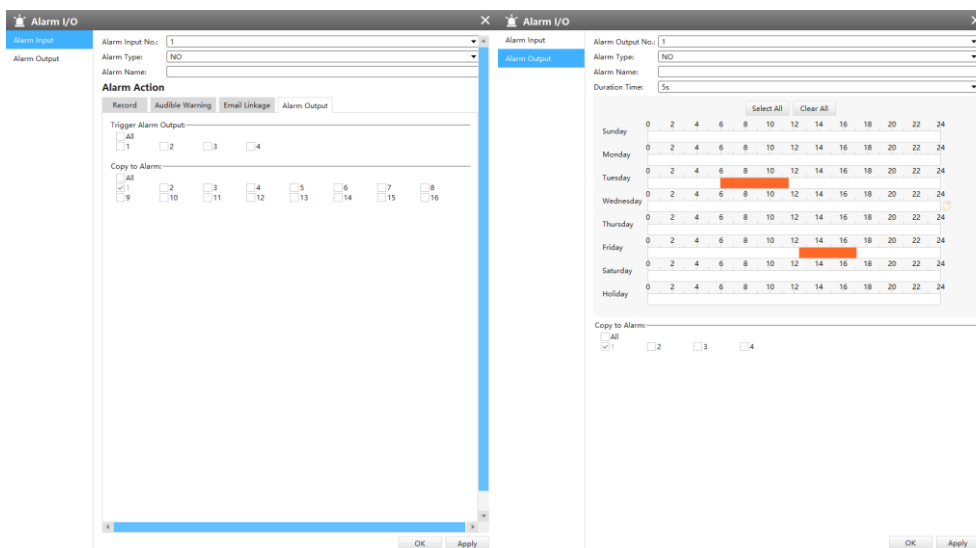


図 3-2-6 アラーム入力/出力

「Alarm Input」 / 「Alarm Output」設定では、アラーム入力/出カタイプ、有効時間、対応するトリガーを設定できます。また、設定を他のチャンネルにコピーすることもできます。

1つまたは複数のチャンネルを設定したら、[適用]ボタン **Apply** をクリックします。

3.2.1.3 録画

スケジュール

スケジュールボタンをクリックすると、設定ウィンドウが以下のように表示されます：

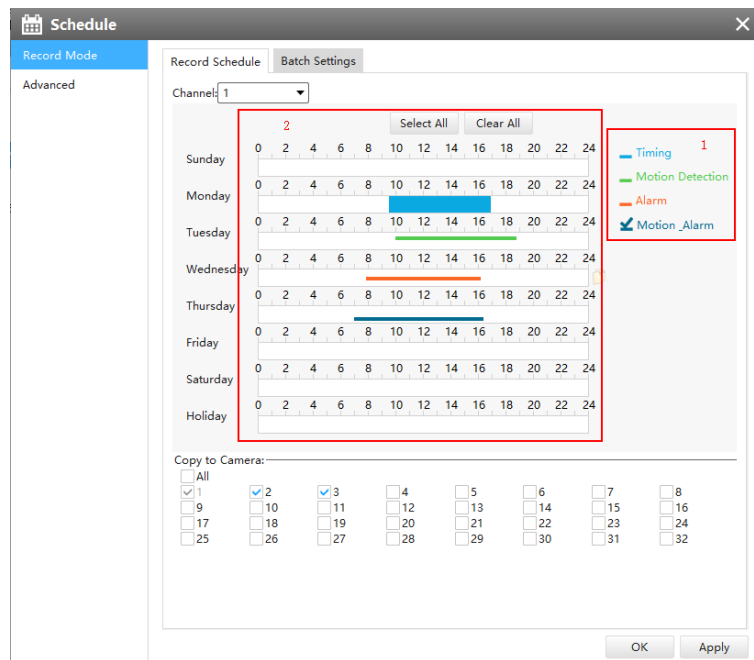


図 3-2-7 録画スケジュール

チャンネル録画スケジュールは「録画スケジュール」で設定できます。チャンネルをスケジュールに従って録画する場合は、録画タイプの1つを選択してから時間を設定する必要があります。「カメラにコピー」は他のチャンネルに設定をコピーすることができます。1つまたは複数のチャンネルのスケジュールを設定したら、[適用]ボタン **Apply** をクリックします。

また、「バッチ設定」でチャンネルを録音または停止にバッチ設定することを選択できます。

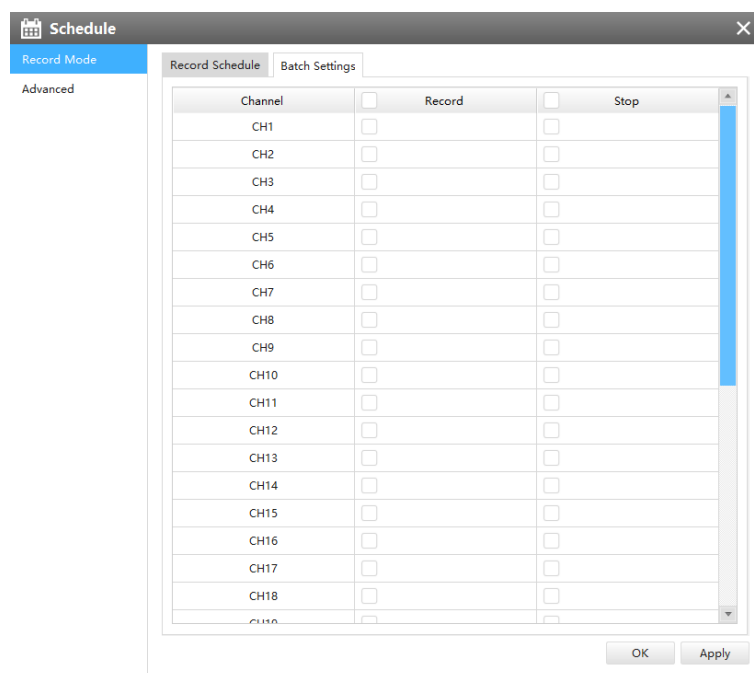


図 3-2-8 バッチ設定

[詳細スケジュール設定]は以下のとおりです:

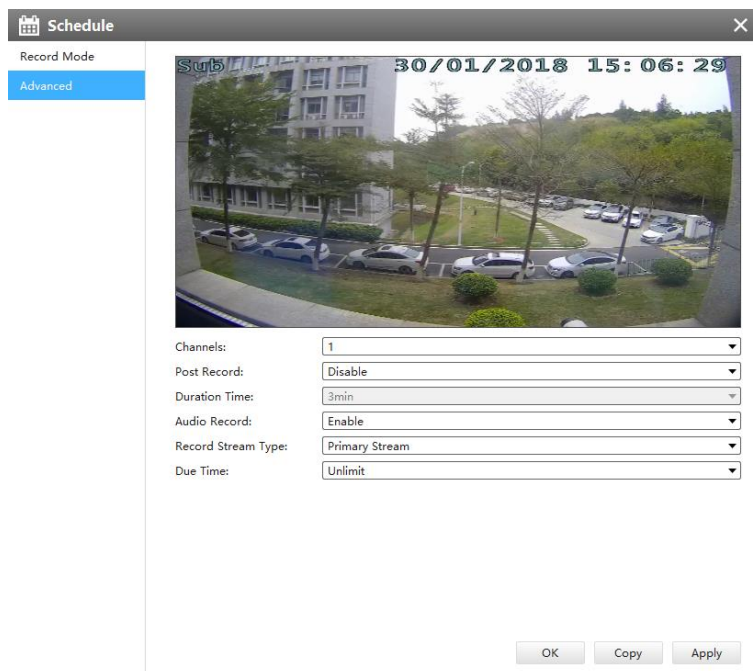
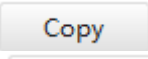



図 3-2-9 詳細スケジュール

[スケジュール]ページの項目の意味は、下の表 3-2-2 を参照してください。

表 3-2-2 スケジュール

項目	機能説明
Channel	チャンネルを選択して設定する
Post Record	ポストレコード機能を有効または無効にする
Duration Time	ポストレコードの持続時間
Audio Record	音声録音を有効または無効にする
Record Stream Type	プライマリストリームとセカンダリストリームが利用可能
Due Time	録画を保存する日数を設定します

設定が完了したら、[コピー]ボタン  をクリックして設定を他のチャンネルにコピーできます。[適用]ボタン  をクリックして、設定を CMS ソフトウェアに適用します。

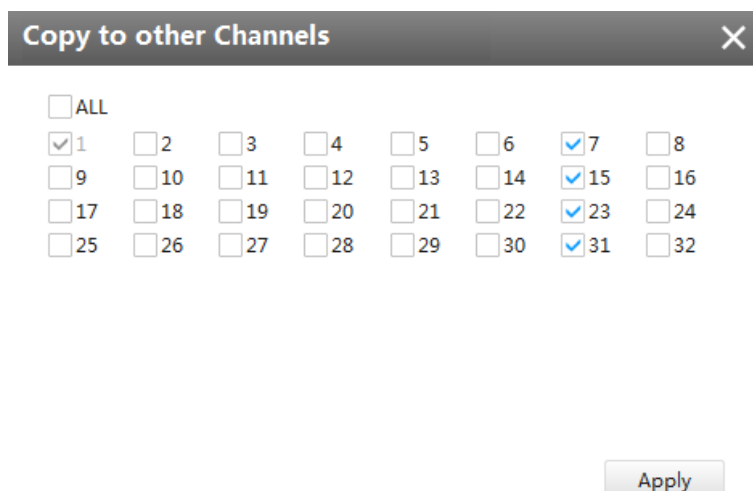


図 3-2-10 他のチャンネルへのコピー

🕒 休日

休日ボタンをクリックすると、休日ウィンドウがポップアップします。編集ボタンをクリックして、選択した休日スケジュールを以下のように編集します：

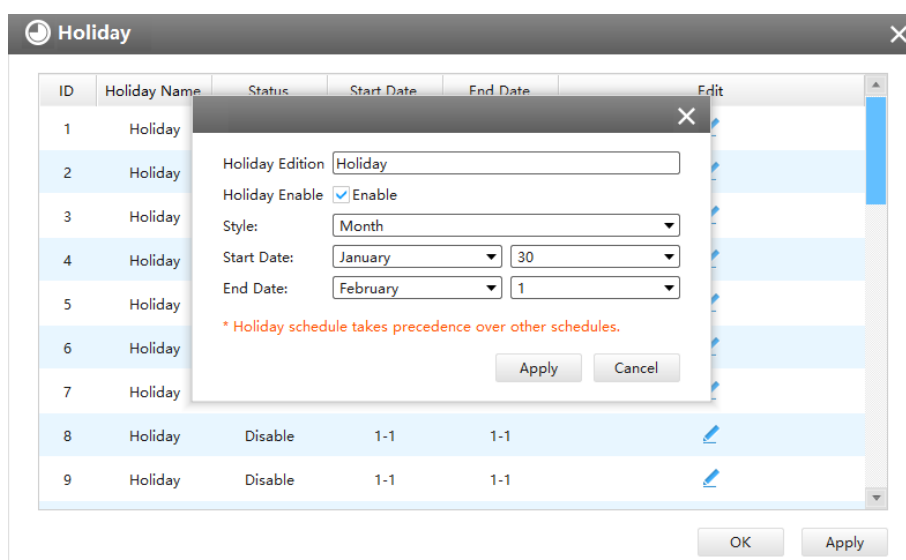


図 3-2-11 休日

🗑️ ディスク管理

ディスクの管理をクリックしてディスクを管理します。ウィンドウが表示されたら、ディスクのステータスを確認してディスクをフォーマットできます。青いバーを描くと、ディスクに関する詳細情報が表示されます。

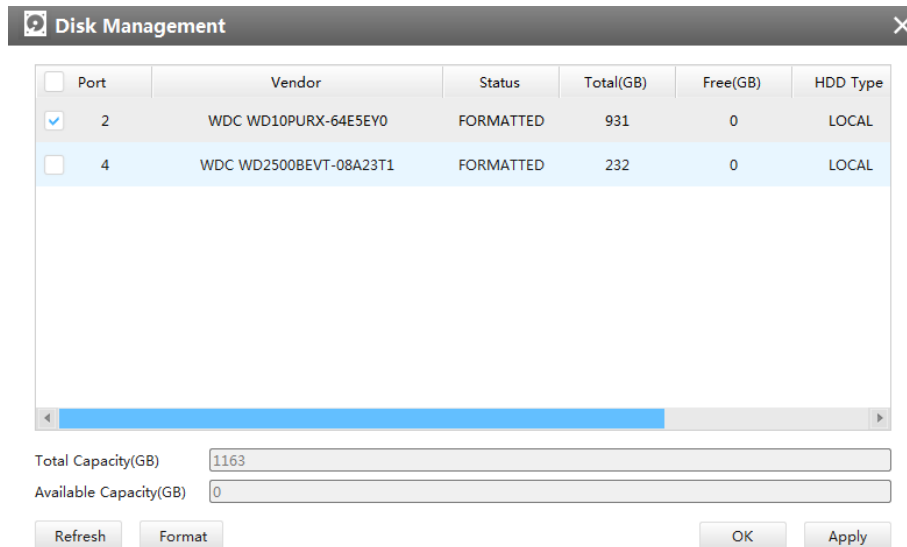


図 3-2-12 ディスク管理

3.2.1.4 システム

[システム] ページには、[全般]、[ネットワーク]、[ユーザー]、[ステータス]、[メンテナンス]の5つの部分があります。

⚙️ 全般

⚙️ 全般ボタンをクリックすると、ウィンドウが以下のようにポップアップ表示されます：

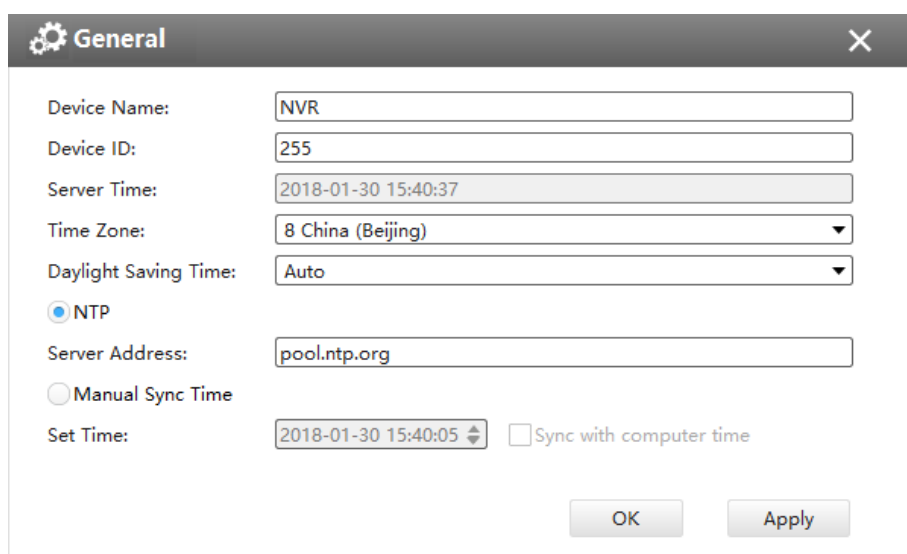


図 3-2-13 全般

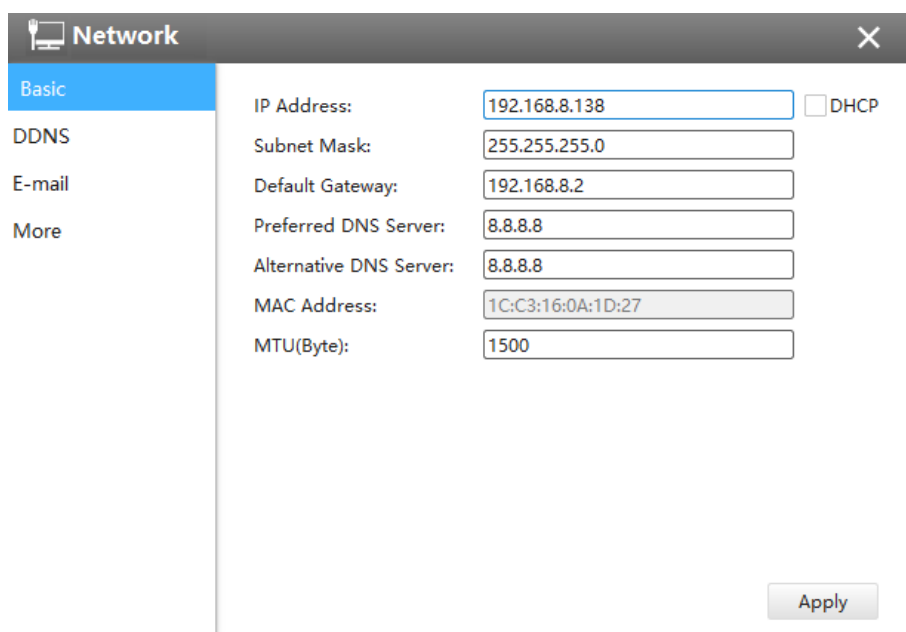
デバイス名と ID は自分で作成することができ、Server Time は選択したタイムゾーンと夏時間によって異なります。NTP または手動で同期できます。設定が完了したら、**Apply** をクリックして設定を保存し、CMS に適用します。

🖨 ネットワーク

ネットワークの部分では、いくつかのネットワーク機能を使用できます。

[基本]

基本設定には、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー、MAC アドレス、MTU が含まれます。



The screenshot shows a 'Network' configuration window with a sidebar on the left containing 'Basic', 'DDNS', 'E-mail', and 'More'. The 'Basic' tab is selected. The main area contains the following fields:

IP Address:	<input type="text" value="192.168.8.138"/>	<input type="checkbox"/> DHCP
Subnet Mask:	<input type="text" value="255.255.255.0"/>	
Default Gateway:	<input type="text" value="192.168.8.2"/>	
Preferred DNS Server:	<input type="text" value="8.8.8.8"/>	
Alternative DNS Server:	<input type="text" value="8.8.8.8"/>	
MAC Address:	<input type="text" value="1C:C3:16:0A:1D:27"/>	
MTU(Byte):	<input type="text" value="1500"/>	

An 'Apply' button is located at the bottom right of the window.

図 3-2-14 基本

[DDNS]

DDNS（動的ドメインネームシステム）は動的 IP アドレスの問題を解決します。

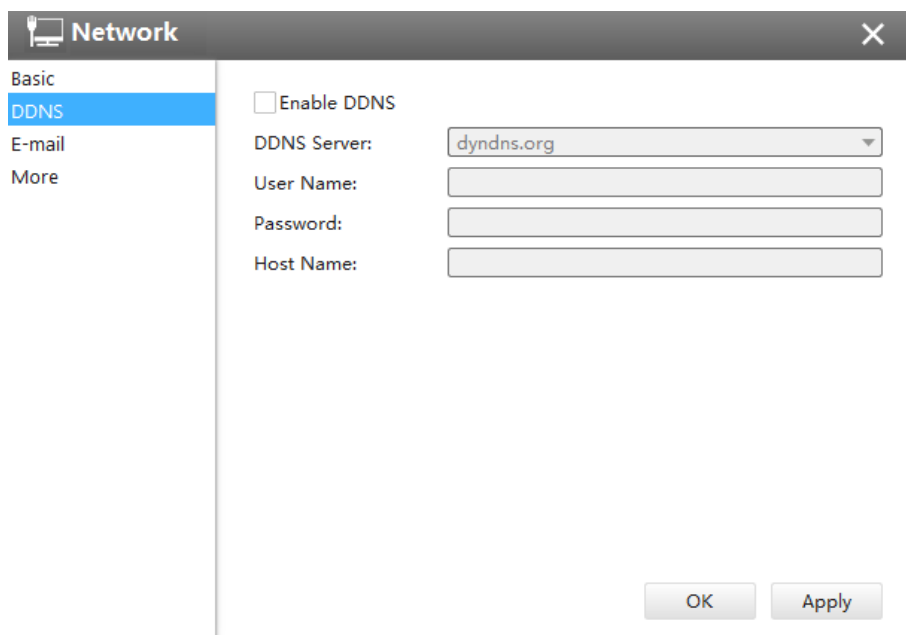


図 3-2-15 DDNS

[E-mail]

SMTP ポートを設定できるかどうか確認してください。実際のメールボックスに従って SSL / TLS を有効にしてください。（一部の SMTP サーバは安全な接続が必要です）

送信者の電子メールアドレス、ユーザー名、パスワード、および SMTP サーバーを設定します。

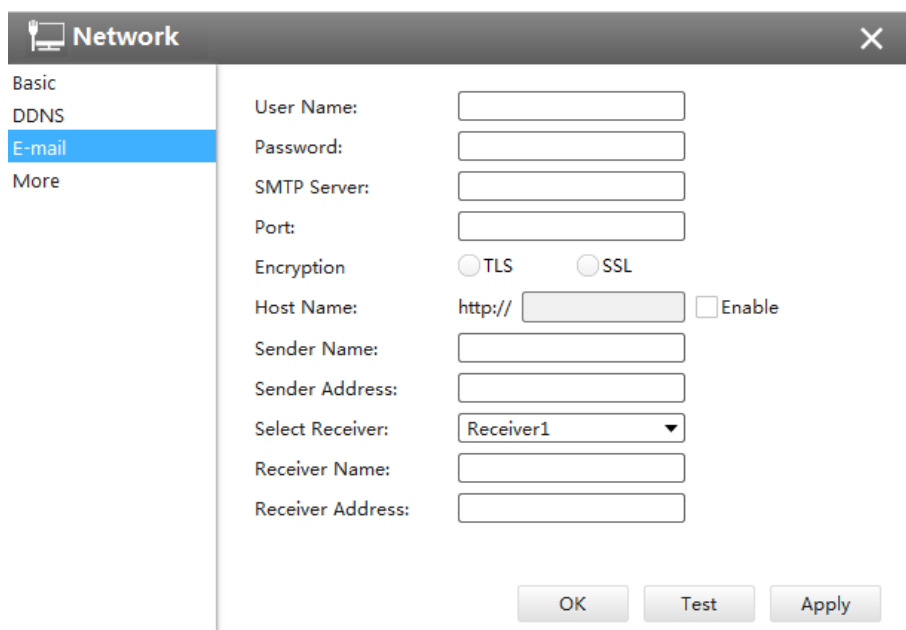


図 3-2-16 E-mail

ネットワークページの項目の意味は、以下の表を参照してください：

表 3-2-3 E-mail

項目	機能説明
User Name	Eメールを送るために選んだEメールアドレス
Password	Eメールのパスワード
SMTP Server	あなたのEメールのSMTPサーバー
Port	SMTPサーバーのポート、通常は25
Encryption	SMTPサーバーが必要な場合は、チェックボックスをオンにしてSSLまたはTLSを有効にします
Host Name	Eメールのホストアドレス
Sender Name	送信者Eメールのためにあなた自身によって名付けられる
Sender Address	[ユーザー名]と同じでなければなりません
Select Receiver	一度に3つの受信機を持つことができます
Receiver Name	受信者のEメールの名前
Receiver Address	受信者のEメールアドレス

[もっと]

セキュアシェル（SSH）には多くの機能があります。それはTelnetを取り替えることができ、またPPPのためのFTP、POPのための安全なチャネルを提供します。

SSHポート：

SSH有効チェックボックスをオンにして機能を有効にし、実際のアプリケーションに従ってSSHポートを変更します。

RTSPポート：

リアルタイムストリーミングプロトコル（RTSP）は、TCP/IPプロトコルシステムにおけるアプリケーション層プロトコルである。

デフォルトのRTSPポートは554です。実際のアプリケーションに従ってRTSPポートを変更してください。

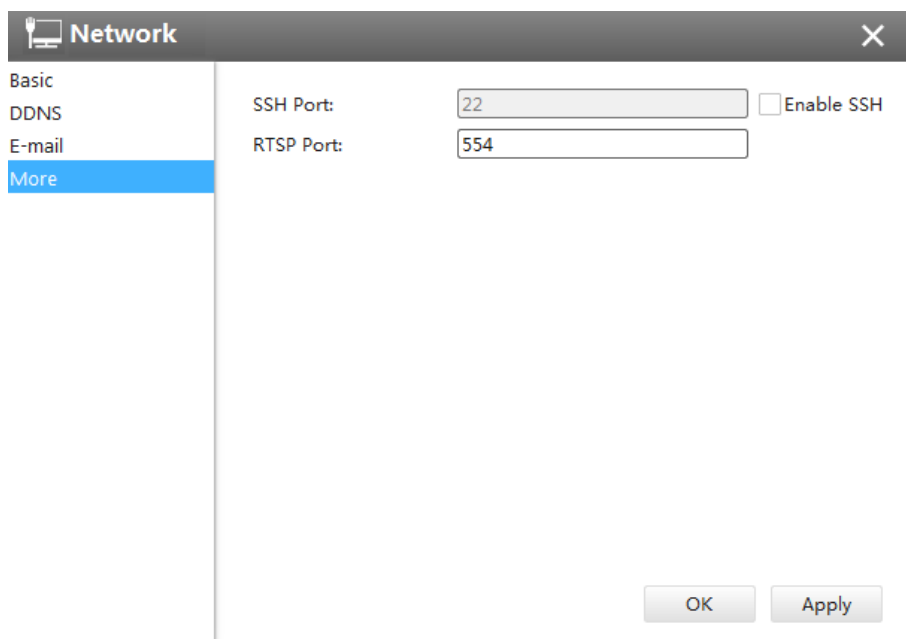


図 3-2-17 もっと

! 注意

- ネットワークで DHCP サーバーが実行されている場合は、DHCP チェックボックスをオンにします。
- MTU の有効範囲は 500～9676 です。
- 他の機器と競合している IP アドレスを入力しないでください。
- PPPoE のユーザー名とパスワードは、サービスプロバイダから入手できます。セットアップが完了すると、接続ステータスが表示されます。
- 「ホスト名」は文字で始める必要があり、数字、文字、およびハイフンのみを含めることができます。
- 動き検出がトリガーされると、それはあなたにスクリーンショットをあなたに電子メールで送ります。
- NVR にホスト名の IP を転送するポートがある場合は、そのポートを含む完全なアドレスを入力してください。
- デフォルトの SSH ポートは 22、IE ブラウザのデフォルトの HTTP ポートは 80 ですが、RTSP ポートの有効範囲は 554 または 1024～65535 です。

👤 ユーザー

[ユーザー] ボタンをクリックすると、設定ウィンドウが以下のように表示されます：

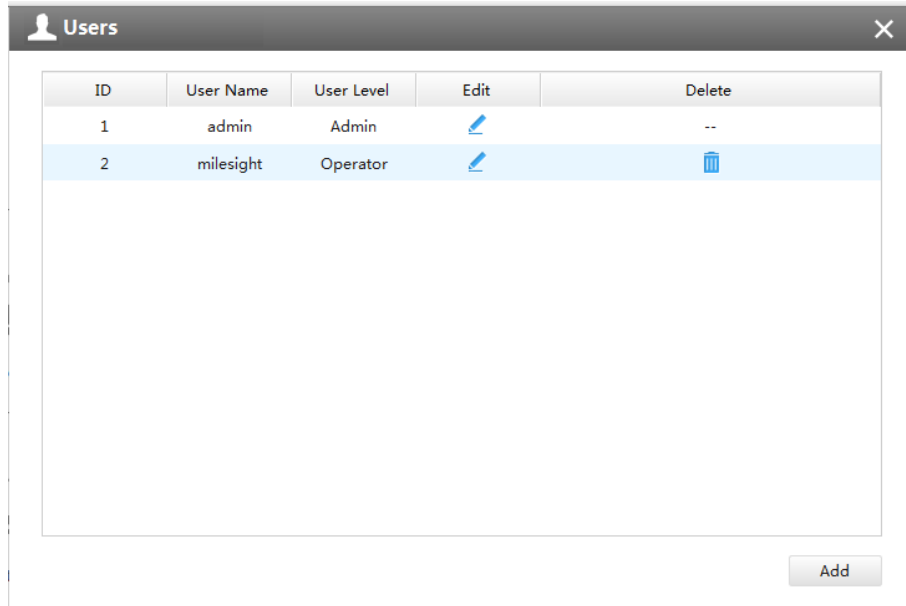


図 3-2-18 ユーザー

「ユーザー」オプションには「管理者」、「オペレータ」、「ユーザー」の3つのユーザーレベルがあります。「管理者」を削除することはできませんが、「削除」ボタン をクリックして「オペレータ」と「ユーザー」を削除することができます。[編集]ボタン をクリックすると、設定ウィンドウが図 3-2-19 のように表示されます：

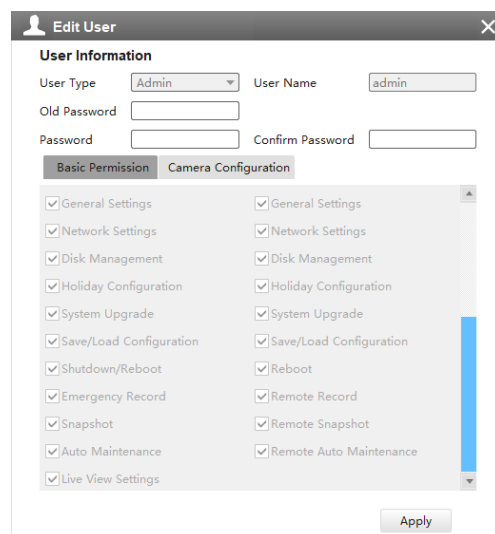



図 3-2-19 ユーザーを編集

ユーザーの編集ページの項目の意味は、以下の表を参照してください：

表 3-2-4 ユーザーを編集

項目	機能説明
User Type	Admin/Operator/User の 3 種類のユーザーを設定できます
User Name	ユーザーを識別するために自分で作成した名前
Old Password	ユーザータイプを編集する前に元パスワードを入力してください
Password	異なるユーザータイプのパスワードを設定します
Confirm password	パスワードを確認するために同じパスワードを再入力します
Basic Permission	基本的な権限をさまざまなユーザータイプで表示します。青いバーをスクロールすると詳細情報が表示されます。
Camera Configuration	ユーザータイプごとに異なるチャンネルを選択

追加ボタン  をクリックすると、設定ウィンドウが以下のように表示されます：

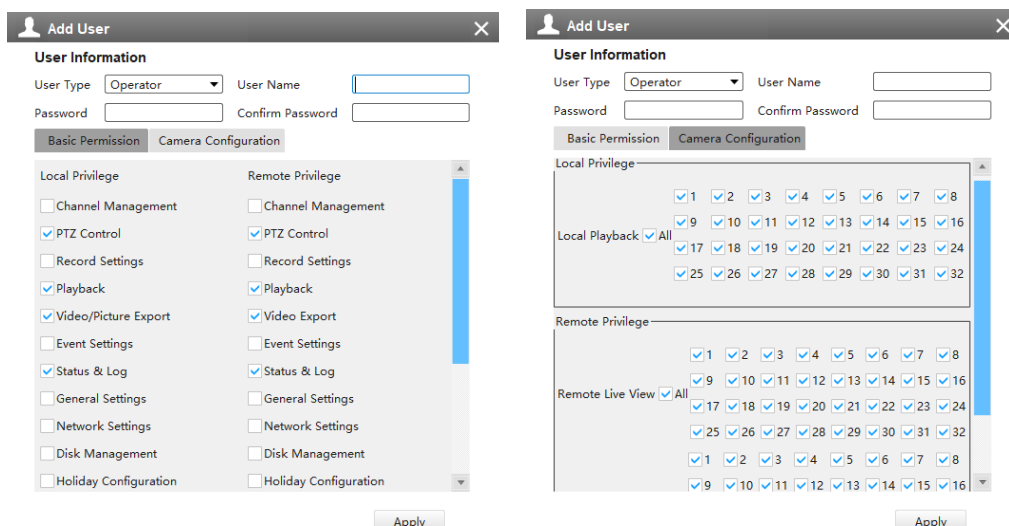


図 3-2-20 ユーザーを追加

ステータス

ステータスには、デバイス情報、ネットワークステータス、カメラステータス、イベントステータス、およびディスクステータスが含まれます。ステータスはコンテンツを表示するためのページ形式を採用しています。

[デバイス情報]

このページから、デバイス ID、製品モデル、カメラ番号（NVR に追加できるカメラの最大数）、HDD 番号（NVR にサポートできる HDD の最大数）、アラーム入力番号

を確認できます。アラーム出力番号、MAC アドレス、ファームウェアバージョン、ハードウェアバージョン、稼働時間および SDK バージョン。

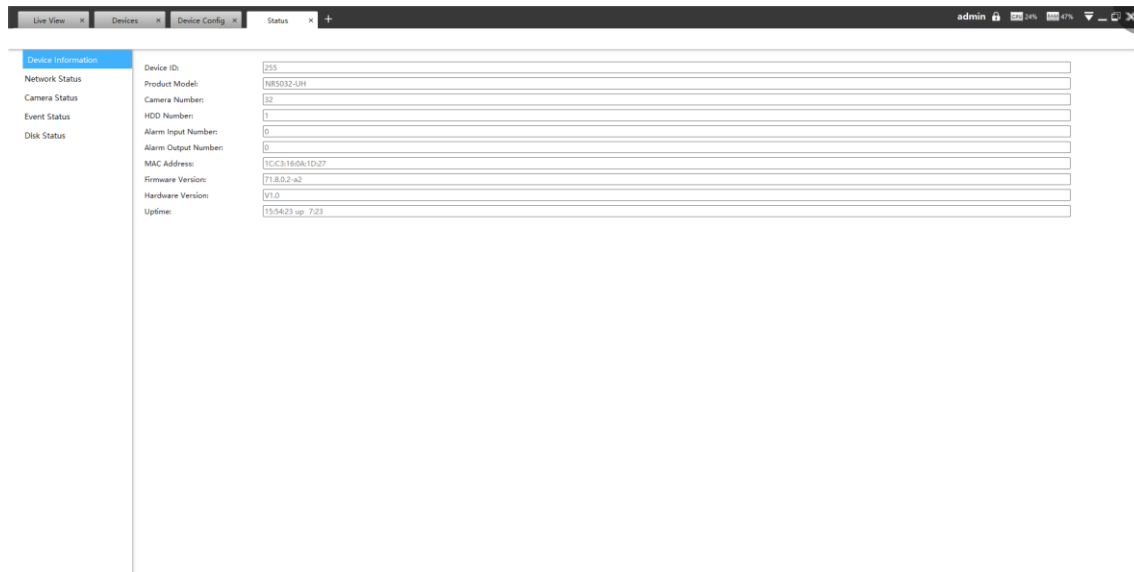


図 3-2-21 デバイス情報

[ネットワークステータス]

受信帯域幅、接続、モード、DHCP、MTU (B)、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス、優先 DNS サーバー、代替 DNS サーバー、受信レート、送信レートなど、ネットワークに関する情報が表示されます

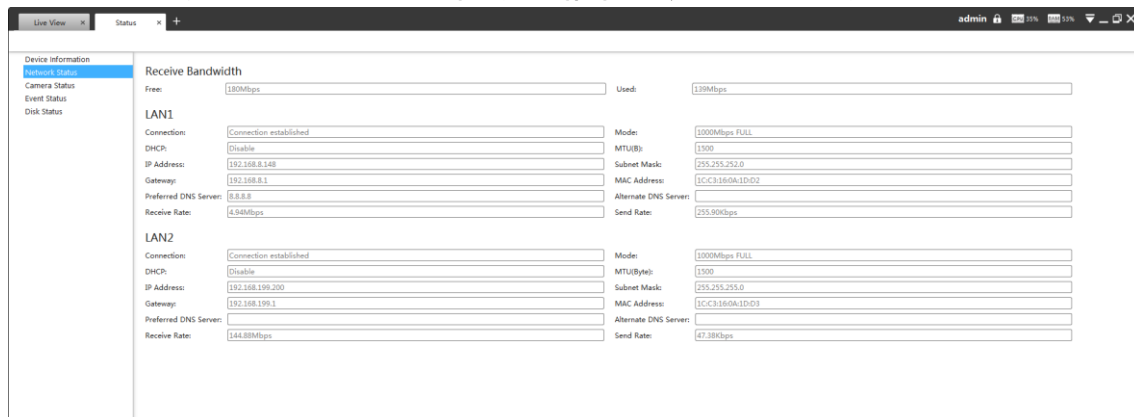
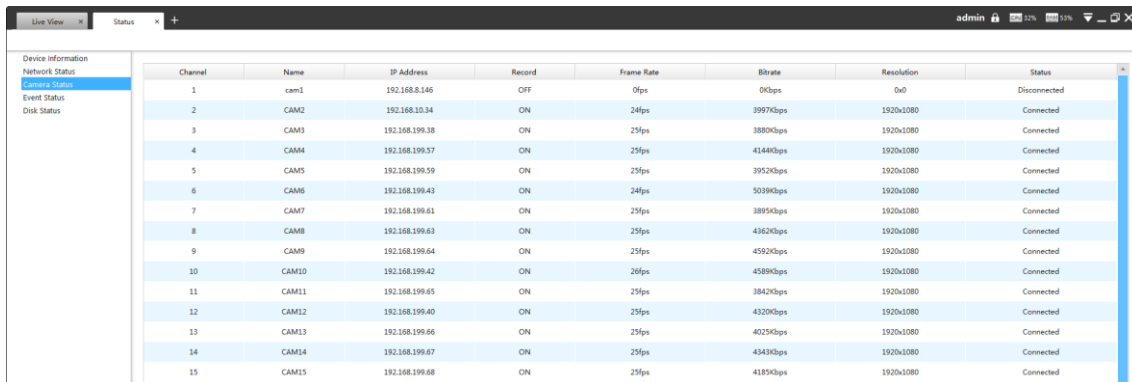


図 3-2-22 ネットワークステータス

[カメラステータス]

チャンネル、名前、IP アドレス、記録の有無、フレームレート、ビットレート、メインストリームの解像度、接続のステータスを表示します。

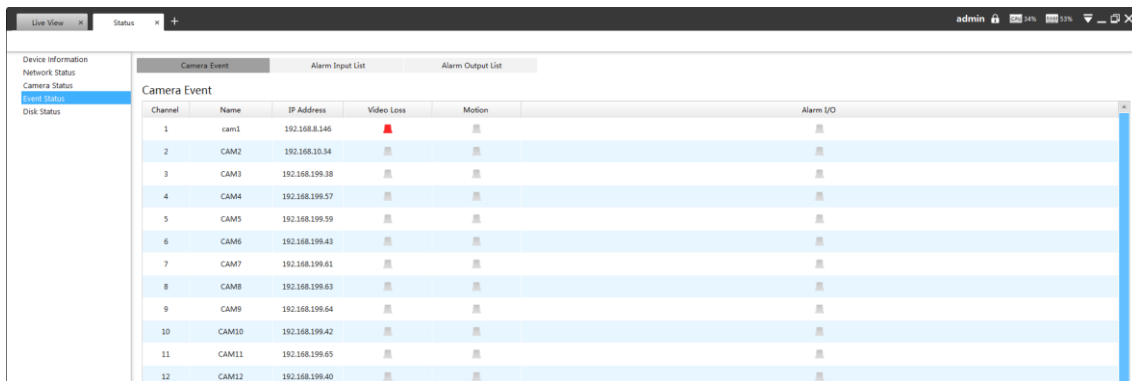


Channel	Name	IP Address	Record	Frame Rate	Bitrate	Resolution	Status
1	cam1	192.168.8.146	OFF	0fps	0Kbps	0x0	Disconnected
2	CAM2	192.168.10.34	ON	24fps	3997Kbps	1920x1080	Connected
3	CAM3	192.168.199.38	ON	25fps	3880Kbps	1920x1080	Connected
4	CAM4	192.168.199.57	ON	25fps	4144Kbps	1920x1080	Connected
5	CAM5	192.168.199.59	ON	25fps	3952Kbps	1920x1080	Connected
6	CAM6	192.168.199.43	ON	24fps	5039Kbps	1920x1080	Connected
7	CAM7	192.168.199.61	ON	25fps	3895Kbps	1920x1080	Connected
8	CAM8	192.168.199.63	ON	25fps	4362Kbps	1920x1080	Connected
9	CAM9	192.168.199.64	ON	25fps	4592Kbps	1920x1080	Connected
10	CAM10	192.168.199.42	ON	26fps	4589Kbps	1920x1080	Connected
11	CAM11	192.168.199.65	ON	25fps	3842Kbps	1920x1080	Connected
12	CAM12	192.168.199.40	ON	25fps	4320Kbps	1920x1080	Connected
13	CAM13	192.168.199.66	ON	25fps	4025Kbps	1920x1080	Connected
14	CAM14	192.168.199.67	ON	25fps	4343Kbps	1920x1080	Connected
15	CAM15	192.168.199.68	ON	25fps	4185Kbps	1920x1080	Connected

図 3-2-23 カメラステータス

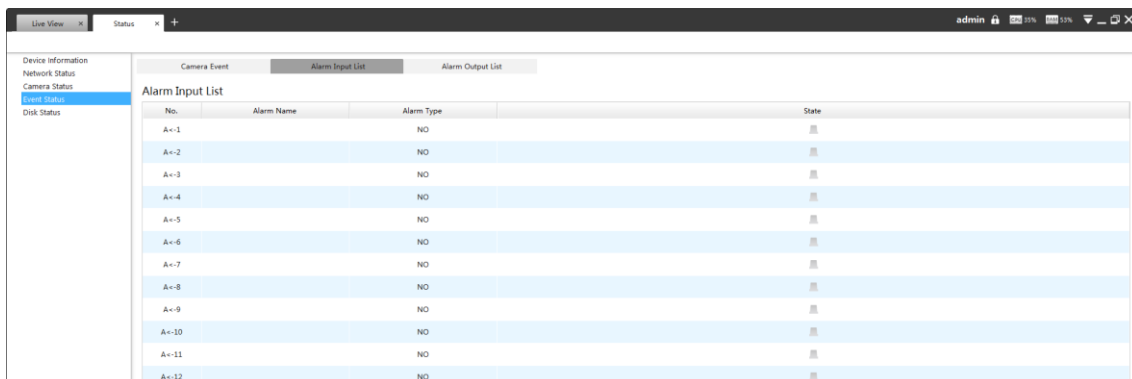
[事件ステータス]

デバイスが事件ステータスになると、アイコンが赤に変わります：



Channel	Name	IP Address	Video Loss	Motion	Alarm I/O
1	cam1	192.168.8.146	■	■	■
2	CAM2	192.168.10.34	■	■	■
3	CAM3	192.168.199.38	■	■	■
4	CAM4	192.168.199.57	■	■	■
5	CAM5	192.168.199.59	■	■	■
6	CAM6	192.168.199.43	■	■	■
7	CAM7	192.168.199.61	■	■	■
8	CAM8	192.168.199.63	■	■	■
9	CAM9	192.168.199.64	■	■	■
10	CAM10	192.168.199.42	■	■	■
11	CAM11	192.168.199.65	■	■	■
12	CAM12	192.168.199.40	■	■	■

図 3-2-24 カメラの事件



No.	Alarm Name	Alarm Type	State
A<-1		NO	■
A<-2		NO	■
A<-3		NO	■
A<-4		NO	■
A<-5		NO	■
A<-6		NO	■
A<-7		NO	■
A<-8		NO	■
A<-9		NO	■
A<-10		NO	■
A<-11		NO	■
A<-12		NO	■

図 3-2-25 アラーム入カリスト

No.	Alarm Name	Alarm Type	Duration Time	State
A->1		NO	5s	<input type="checkbox"/>
A->2		NO	5s	<input type="checkbox"/>
A->3		NO	5s	<input type="checkbox"/>
A->4		NO	5s	<input type="checkbox"/>

図 3-2-26 アラーム出カリスト

[ディスク状態]

ディスクポート、ベンダー、ステータス、合計機能、使用可能容量、空き容量 HDD タイプ、使用中かどうか、リサイクルモードのオン/オフが表示されます。

Port	Vendor	Status	Total(GB)	Used(GB)	Free(GB)	HDD Type	In Use	Recycle Mode
2	ST1000VX000..	FORMATTED	931	931	0	LOCAL	*	ON

Total Capacity(GB)

Available Capacity(GB)

図 3-2-27 ディスク状態

✖ メンテナンス

メンテナンスボタン ✖ をクリックすると、ウィンドウが以下のようにポップアップ表示されます、あなたは 1/2/4/6/8/10/12 月のためのログと画像保持期間または自動メンテナンス部分で永久的を選ぶことができます。システム管理部分では、[再起動] ボタン をクリックして CMS を再起動できます。

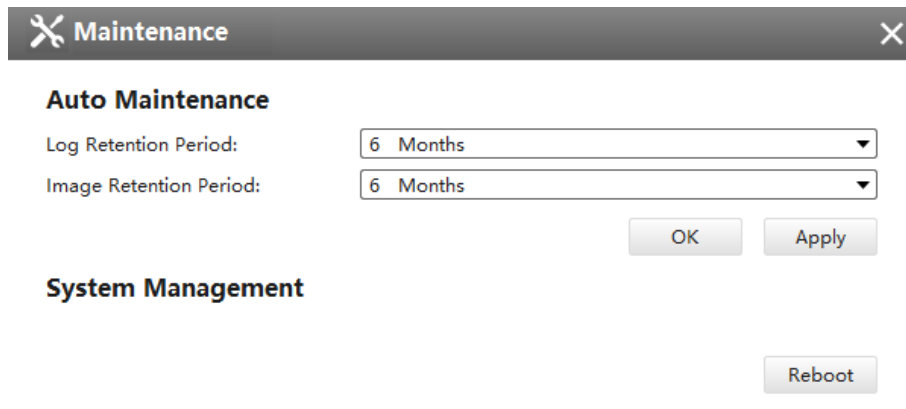


図 3-2-28 メンテナンス

3.2.1.5 カメラ

NVR の内部にあるネットワークカメラのデバイス構成は以下のとおりです：

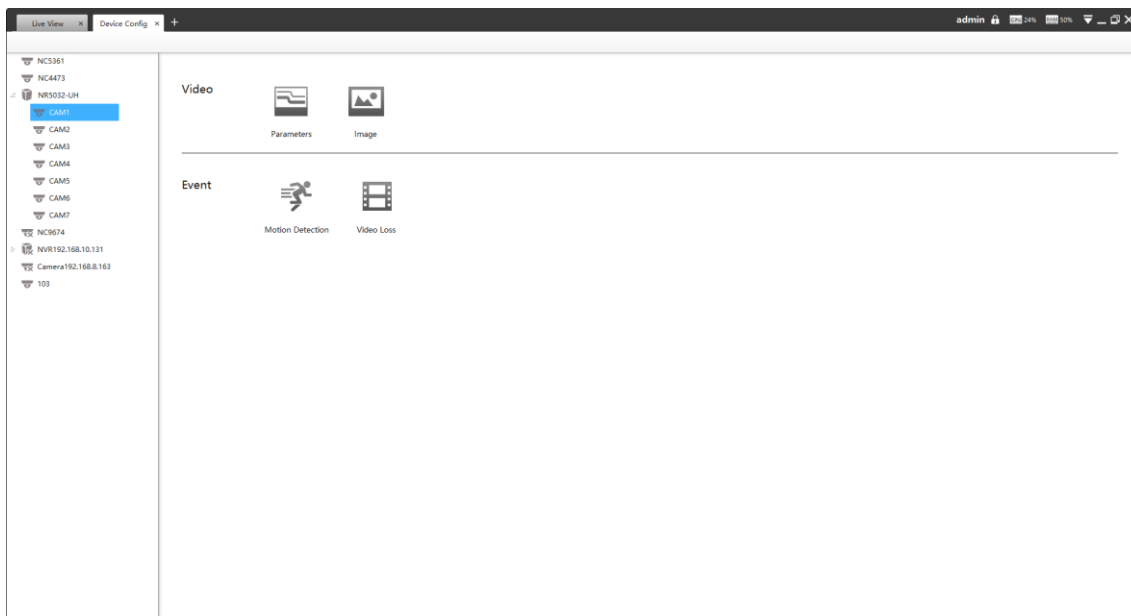


図 3-2-30 NVR 内のカメラ

ビデオ

ビデオページは以下のとおりです：

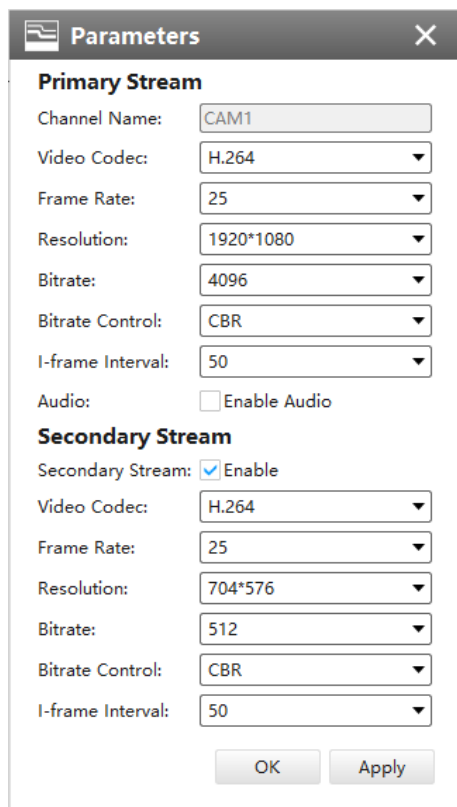


図 3-2-31 NVR 内のカメラのビデオ

ページ上の項目の意味は表 3-2-5 を参照することができます：

 画像

画像ページは以下のとおりです：

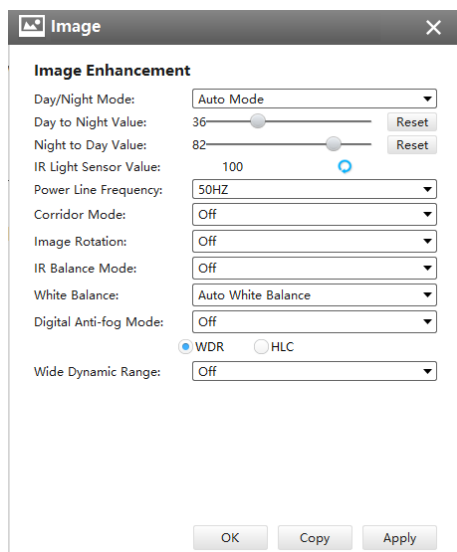


図 3-2-32 NVR 内のカメラの画像

ページ上の項目の意味は表 3-2-6 を参照することができます。

 モーション検知

[モーション検知] ページは次のとおりです。

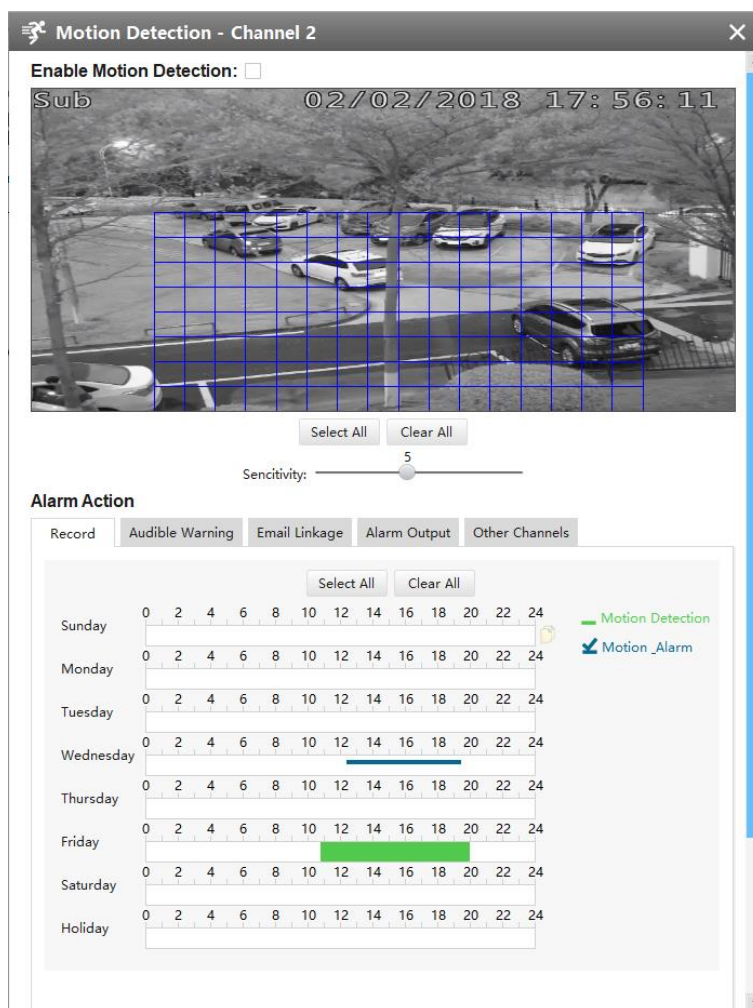


図 3-2-33 NVR 内のカメラのモーション検知

ステップ 1: チェックボックスをオンにしてモーション検知機能を有効にします。関心領域を描画するか、[すべて選択] ボタン **Select All** をクリックして関心領域をすべて選択します。そして、感度は 0 から 10 の範囲です。

ステップ 2: これはあなたが選択することができる警報動作[記録] [警告音] [Eメール連携] [アラーム出力]の 4 つのオプションです。アラームアクションを選択したら、スケジュールを描くことができます。そして、設定したら [OK] または [適用] をクリックします。

📺 ビデオロス

ビデオロス ページは以下のとおりです :

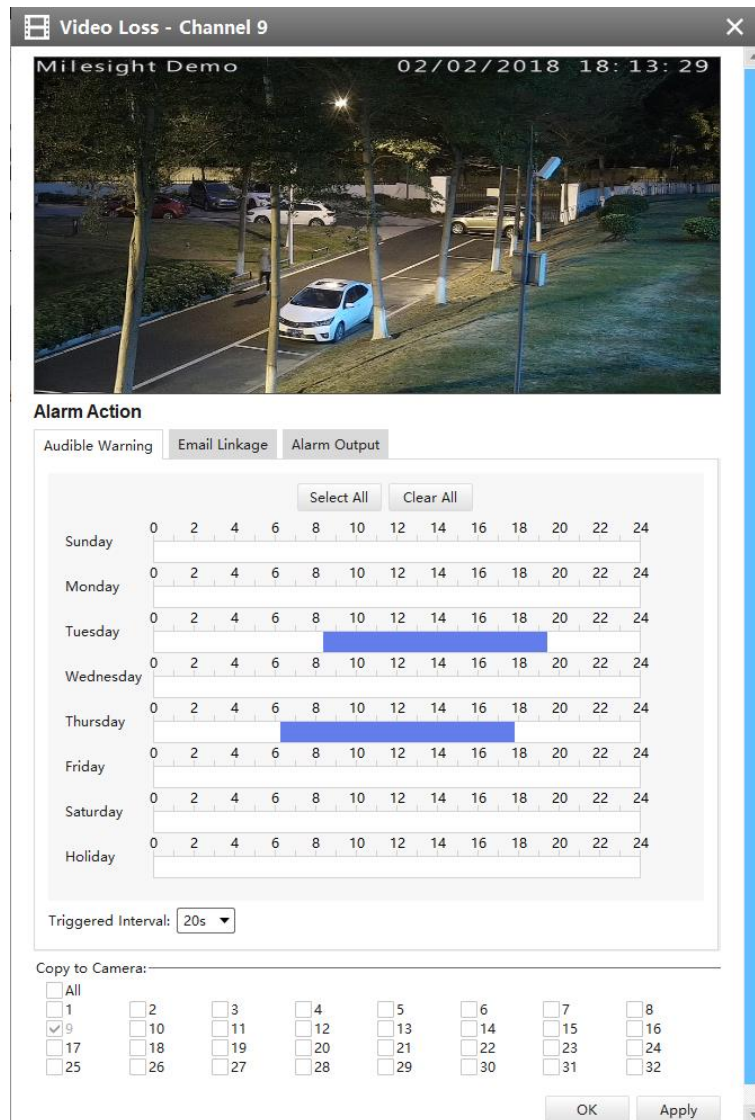


図 3-2-34 ビデオロス

これはあなたが選択することができるアラーム動作[警告音][Eメール連携][アラーム出力]の3つのオプションです。アラームアクションを選択したら、スケジュールを描くことができます。そして、設定したら[OK]または[適用]をクリックします。他のチャンネルに設定をコピーすることもできます。

3.2.2 カメラ

ネットワークカメラの機器構成は以下の通りです：

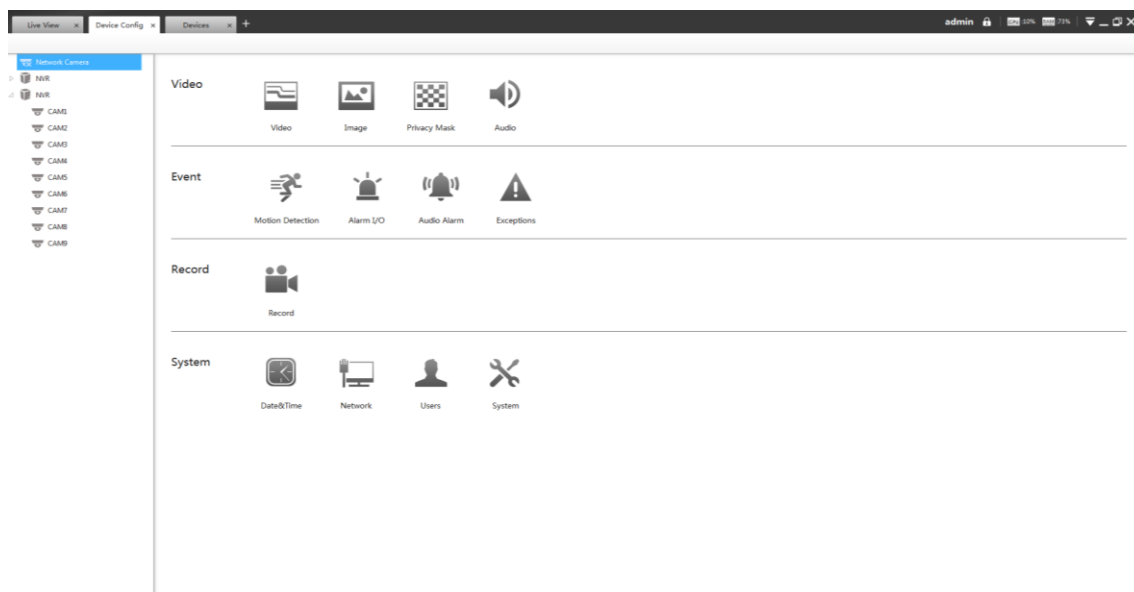


図 3-2-29 カメラ

3.2.2.1 ビデオ

ビデオ

ビデオページは以下のとおりです：

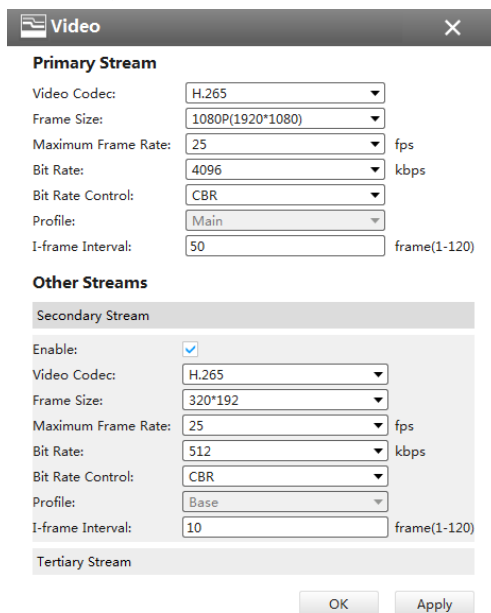


図 3-2-30 ビデオ

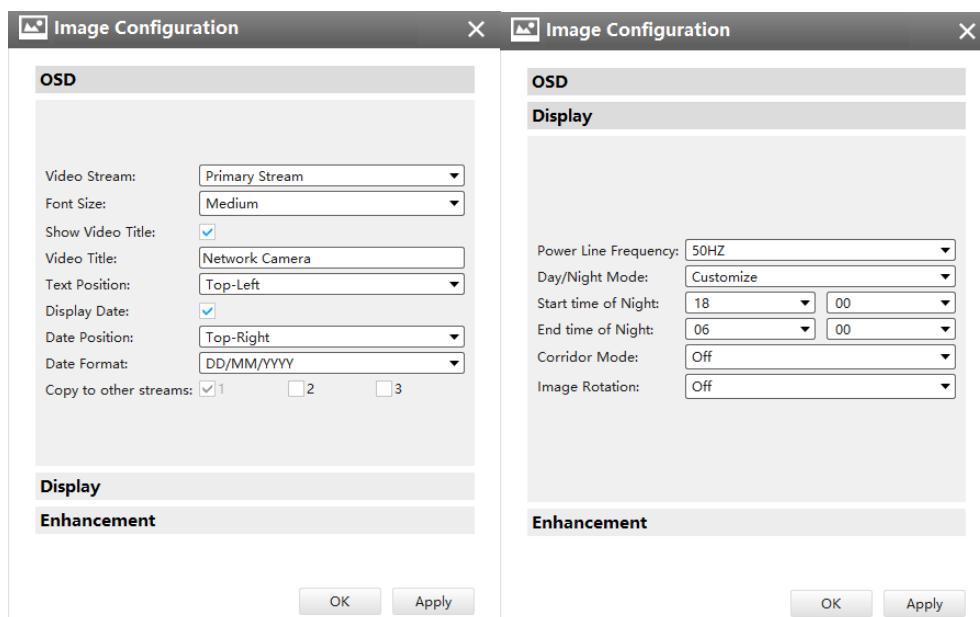
ビデオページの項目の意味は、下の表を参照してください：

表 3-2-5 ビデオ

項目	機能説明
Video Codec	H. 265 / H. 264 / MJPEG あり
Frame Size	オプションには、4M (2592×1520) 、3M (2048×1536) 、1080P (1920×1080) 、2M (1600×1200) 、1.3M (1280×960) 、720P (1280×720) 、D1 (704×576) があります
Maximum Frame Rate	1 秒あたりの最大リフレッシュフレームレート
Bit Rate	1 秒あたりのデータ送信ビット数。この項目は、H. 264 を選択した場合にのみオプションです
Bit Rate Control	GBR: 固定ビットレート。GBR の生産量は一定 VBR: 可変ビットレート。VBR 出力のレートは帯域幅の占有に 従って可変になります
Profile	オプションは H. 264 用です。必要に応じてベース/メイン/ハイ を選択可能
I-frame Interval	I フレーム間隔を 1~120 に設定します。この項目は、H. 264 を 選択した場合にのみオプションです

画像

画像ページは以下のとおりです：



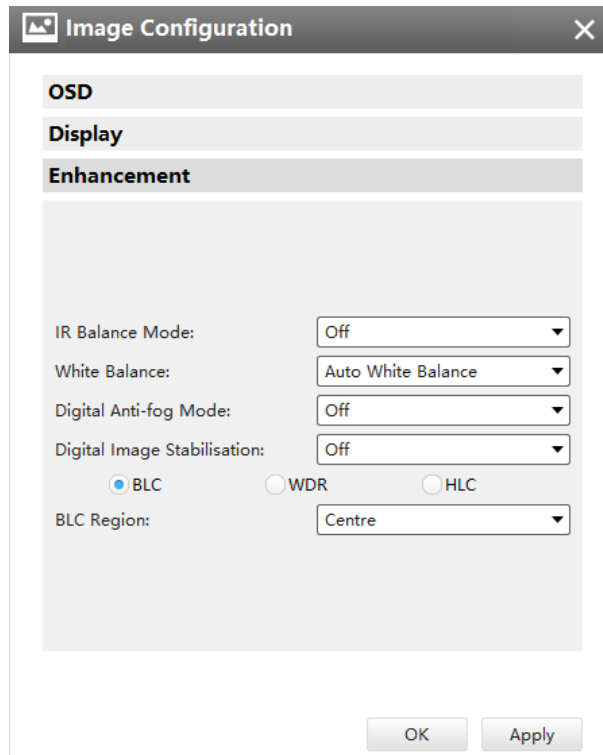


図 3-2-31 画像

画像ページの項目の意味は以下の表を参照してください：

表 3-2-6 画像

項目	機能説明
Video Stream	編集したいストリームを選択してください
Font Size	タイトルと日付には、最小/小/中/大/最大/自動があります
Show Video Title	チェックボックスをオンにしてビデオのタイトルを表示します
Video Title	ビデオのタイトルをカスタマイズすることができます
Text Position	画像上の OSD 位置
Display Date	チェックボックスをチェックして画像に日付を表示します
Date Position	画像上の日付表示位置
Date Format	日付の格式
Power Line Frequency	NTSC モードで 60Hz のフリッカ、PAL モードで 50Hz のフリッカ
Day/Night Mode	このモードに関連する露出レベル、最大露出時間、IR-CUT 間隔などのいくつかのパラメータがあります ナイトモード：カメラのライブビュー画像をナイトモードに切り替えるには

	<p>デイモード：カメラのライブビュー画像をデイモードに切り替えるには</p> <p>自動モード：環境光に基づいてデイまたはナイトモードを自動的に変更するライブビュー画像を有効にする</p> <p>カスタマイズ：デイ&ナイトモードの切り替え設定をカスタマイズする</p>
Start/End time of night	夜の開始時間と終了時間を選択してください
Corridor Mode	<p>利用可能な 3 つのオプションがあります、あなたはあなたの必要性を満たすために 1 つを選ぶことができます</p> <p>オフ：画像を垂直方向に保ちます</p> <p>時計回りに 90°：画像を時計回りに 90°回転</p> <p>反時計回りに 90°：反時計回りに画像を 90°回転</p>
Image Rotation	<p>利用可能な 4 つのオプションがあります、あなたはあなたの必要性を満たすために 1 つを選ぶことができます</p> <p>オフ：画像を垂直方向に保ちます</p> <p>180°回転：画像を裏返します</p> <p>左右反転：画像を左右反転します</p> <p>垂直反転：画像を垂直に反転します</p>
IR Balance Mode	<p>IR LED をオフ/オンにするオプションがあります。</p> <p>IR バランスモードは、露出過多や暗さの問題を回避し、IR LED は実際の照明に応じて変化します。</p>
White Balance	<p>白い物体を修復するために、環境の光によって引き起こされる色のゆがみを取り除きました</p> <p>自動ホワイトバランス：このオプションは自動的にホワイトバランス機能を有効にします。</p> <p>手動ホワイトバランス：このオプションは H. 265 シリーズ専用です。赤ゲインレベルと青ゲインレベルを手動で設定します。</p> <p>白熱灯：白熱灯と光が似ている場合は、このオプションを選択します。</p> <p>ウォームライトランプ：ライトがウォームライトランプと似ている場合は、このオプションを選択します。</p> <p>自然光：自然光以外の光がない場合は、このオプションを選択します。</p> <p>蛍光灯：光が蛍光灯と似ている場合は、このオプションを選択します。</p>
Digital Anti-fog Mode	この機能は H. 265 シリーズ専用です。霧の天候におけるより良い画像効果。
Digital Image Stabilisation	この機能は H. 265 シリーズ専用です。画像のぼやけやがたつきを軽減します。
BLC Region	オフとセンターが利用可能です（シングルモードでは、WDR が無効の場合にのみ有効）

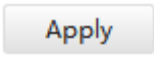
	<p>オフ：全視野を計算し、適切な光量補正を行います。</p> <p>中央：このオプションは自動的にウィンドウの中央に包含領域を追加し、必要な光補正を行います</p>
Wide Dynamic Range	<p>この機能により、同じフレーム内に明るい部分と暗い部分の両方をキャプチャして表示することができます</p> <p>オフ：WDR 機能を無効にします</p> <p>On：WDR を有効にします。Low / High / Auto の3つのレベルがあります</p> <p>カスタマイズ：WDR 機能を有効/無効にし、低/高/自動でレベルを設定するようにスケジュールをカスタマイズします</p>
High Light Compensation	<p>この機能は、光が強いときに明るさを通常の範囲に調整する H. 265 シリーズ専用です。</p> <p>オフ：HLC 機能を無効にします</p> <p>一般モード：HLC の一般モードを有効にします。HLC レベルの設定があります</p> <p>拡張モード：HLC の拡張モードを有効にします。HLC レベルの設定があります</p>

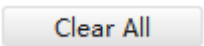
プライバシーマスク

この CMS は、プライバシーマスクが最大 4 箇所をサポートしています。設定手順は以下のとおりです。

ステップ 1：チェックボックスをチェックしてプライバシーマスク機能を有効にします。

ステップ 2：マスクの種類を選択します。

ステップ 3：マウスを押したまま領域を描き、ボタン  をクリックして設定を適用します。

ステップ 4：ボタン  をクリックして描画領域をすべてクリアします。

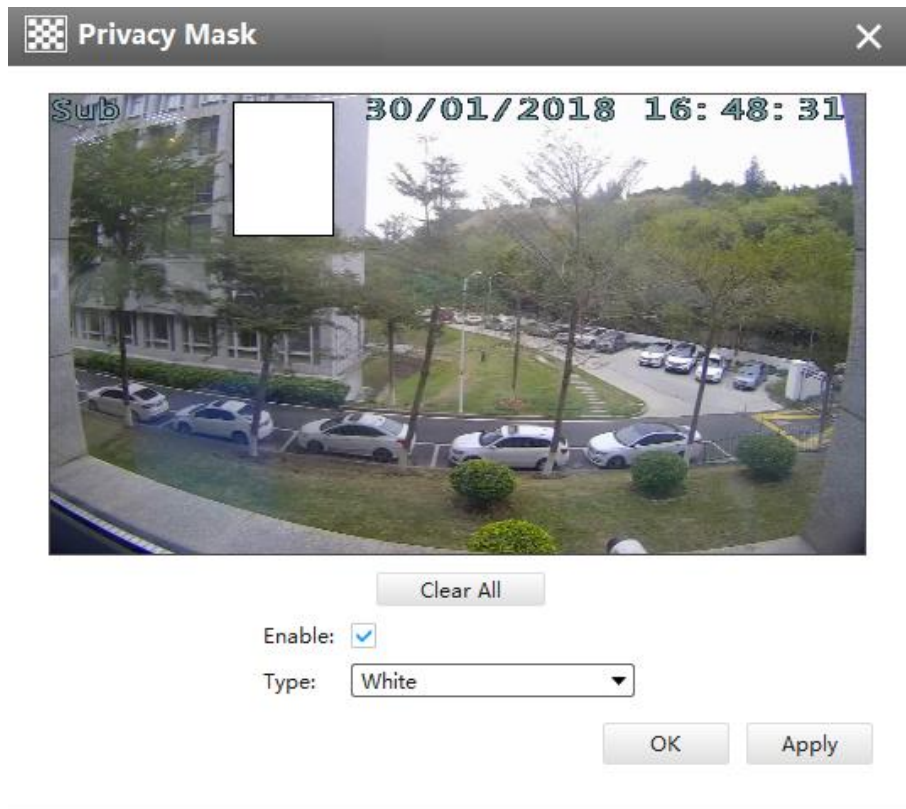


図 3-2-32 プライバシーマスク

🔊 オーディオ

この音声機能により、カメラからの音声を聞いたり、カメラ側に音声を送信したりできます。この機能で双方向通信も可能です。音声入力の設定した特定のアラームレベルを超えるとアラームがトリガーされ、アラームが発生したときに設定されたオーディオが再生されます。

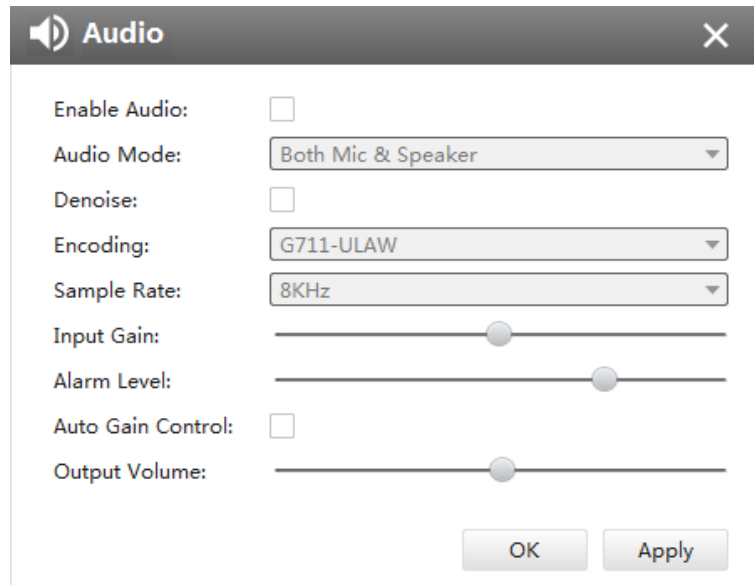


図 3-2-33 オーディオ

オーディオページの項目の意味は、下の表を参照してください：

表 3-2-7 オーディオ

項目	機能説明
Enable Audio	<p>チェックボックスをオンにして音声機能を有効にします</p> <p>オーディオモード：マイクのみ、スピーカーのみ、マイクとスピーカーの両方が利用可能</p>
Audio Input	<p>Denoise：オン/オフに設定します。この機能をオンに設定すると、検出されたノイズをフィルタリングすることができます。</p> <p>エンコーディング：G711-ULaw、G711-ALaw および AAC LC が利用可能</p> <p>サンプルレート：8KHz / 16KHz の2つのオプションがあります</p> <p>入力ゲイン：入力オーディオゲインレベル、0~100</p> <p>アラームレベル：音声アラームが有効になっていて、入力音量がアラームレベルの0~100より大きい場合、アラームがトリガーされます。</p> <p>オートゲインコントロール：オン/オフに設定します。</p> <p>出力音量：出力レベル、0~100</p>

3.2.2.2 事件

🔊 モーション検知

チェックボックスをオンにすると、動体検知機能が有効になります。関心領域を描画するか、[すべて選択]ボタン **Select All** をクリックして関心領域をすべて選択します。また、感度は0から10の範囲です。[FTP 経由でアップロード]、[SMTP 経由で

アップロード]、[SD カードに保存]、[外部出力]の4つのオプションがあります。そして[スケジュールの編集]ボタン **Edit Schedule** をクリックして時間を編集し、動体検知を有効にしてから設定を適用します。

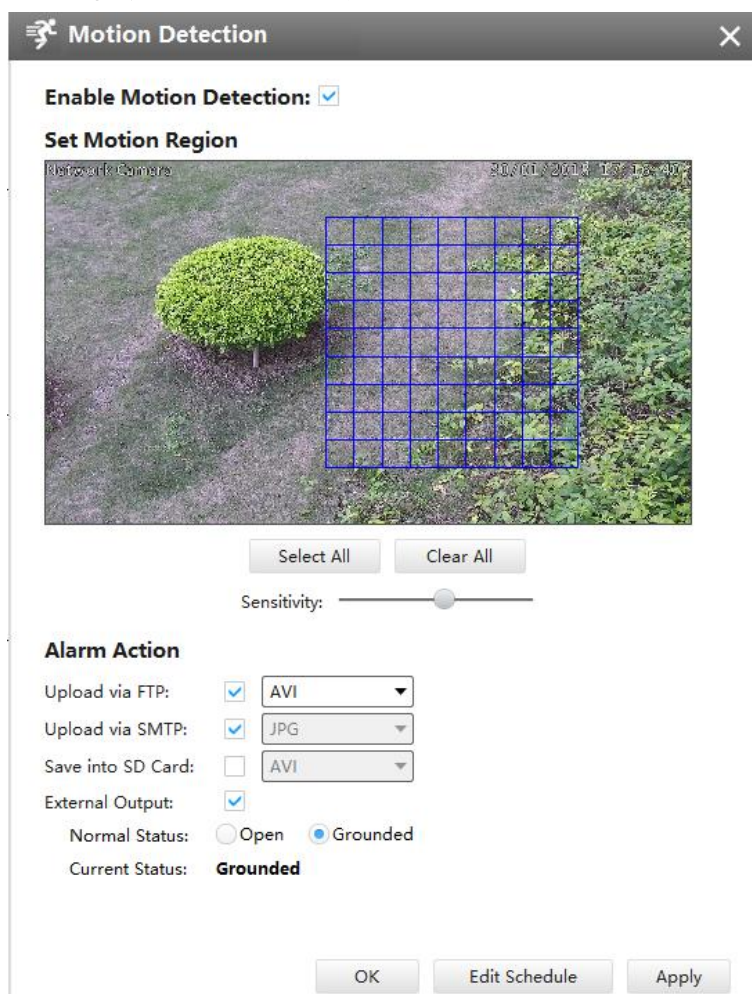


図 3-2-34 モーション検知

アラーム入力出力

使用する前に、まず機能を有効にしてください。アラームが発生した場合、CMS はいくつかのアラームアクションをサポートします。アラーム機能を有効にする前に、FTP と SMTP の設定を忘れないでください。

図 3-2-35 アラーム入力出力

🔔 音声アラーム

音声アラームを有効にする前に音声機能を有効にする必要があります。アラームが発生した場合、CMS はいくつかのアラームアクションをサポートします。アラーム機能を有効にする前に、FTP と SMTP の設定を忘れないでください。

図 3-2-36 音声アラーム

⚠️ 例外

例外がある 2 つのアラームタイプがあります：ネットワーク損失および IP 競合。
図 3-2-37 を参照してください：

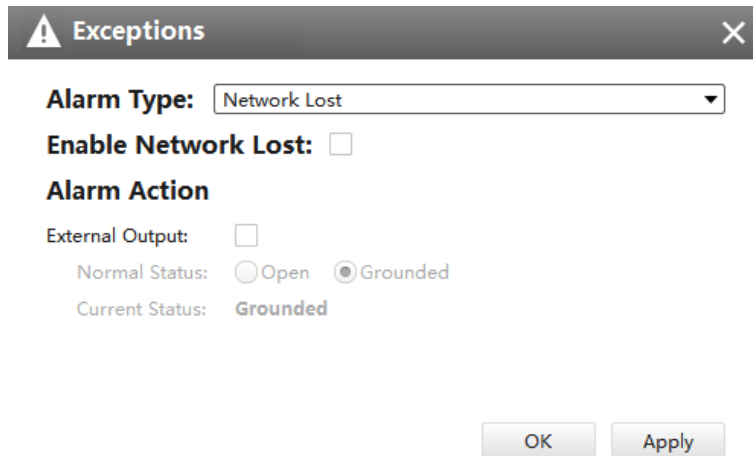


図 3-2-37 例外

注意

- CMS のアラーム機能を使用する前に、ネットワーク部の関連設定を完了してください。
- アラーム I/O ページで現在の状態が通常の状態と異なるときにアラームを作動させます。自分で状態を設定することができます。

3.2.2.3 録画

録画

CMS は、カメラまたは NAS の SD カードにビデオを録画することをサポートします。記録ファイルのサイズを 10M から 256M に設定し、All または Key の記録フレームタイプを選択して記録時間を設定できます。録画ページは以下の通りです：

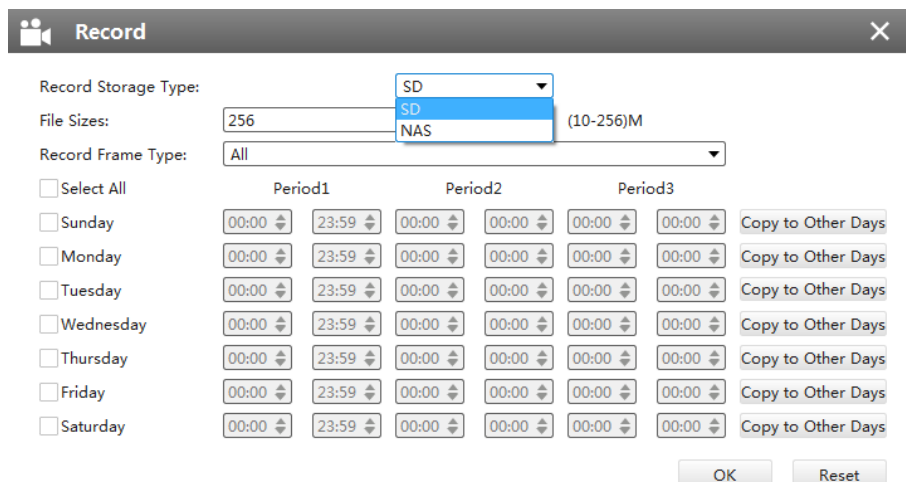

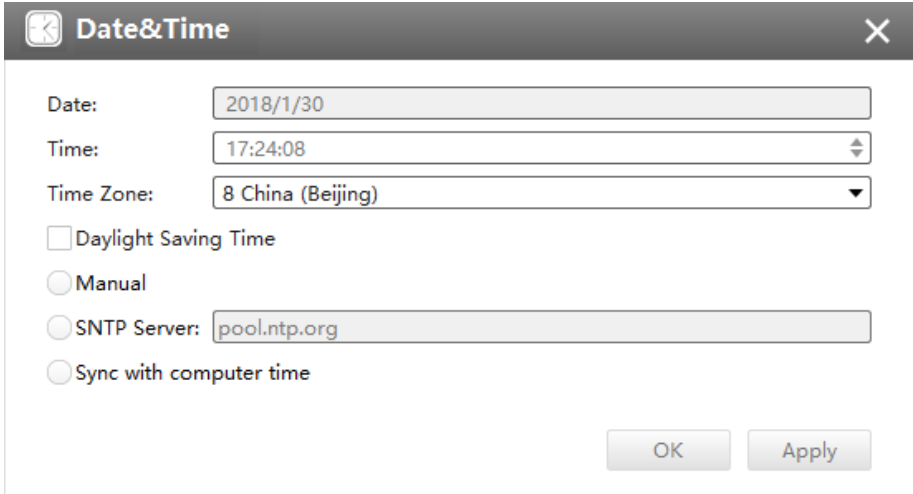


図 3-2-38 録画

3.2.2.4 システム

🕒 日付時刻

タイムゾーンを選択して、夏時間を有効にするかどうかを決定できます。また、日付と時刻をNTPと同期させる、または手動で時刻を設定することもサポートしています。設定が完了したら、[適用]ボタン  をクリックして設定を保存し、CMSに適用します。



The image shows a 'Date&Time' configuration window. It contains the following fields and options:

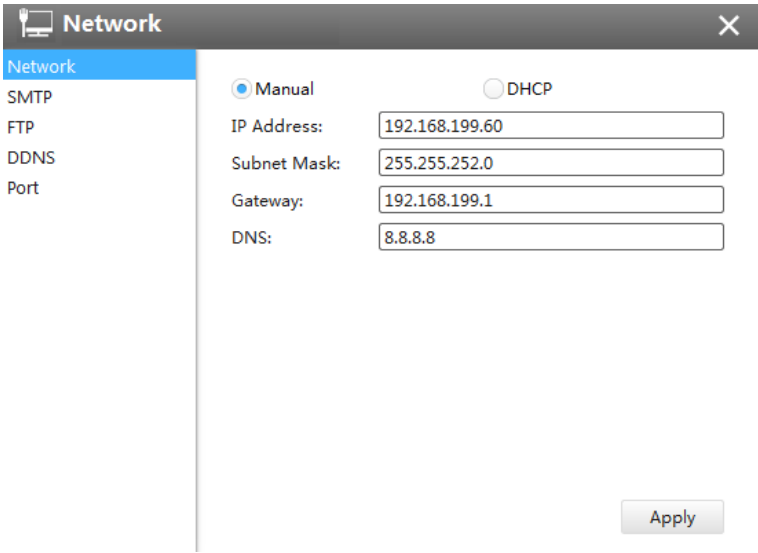
- Date: 2018/1/30
- Time: 17:24:08
- Time Zone: 8 China (Beijing)
- Daylight Saving Time
- Manual
- SNTP Server: pool.ntp.org
- Sync with computer time
- Buttons: OK, Apply

図 3-2-39 日付時刻

🌐 ネットワーク

[ネットワーク]

ネットワークページは以下のとおりです：



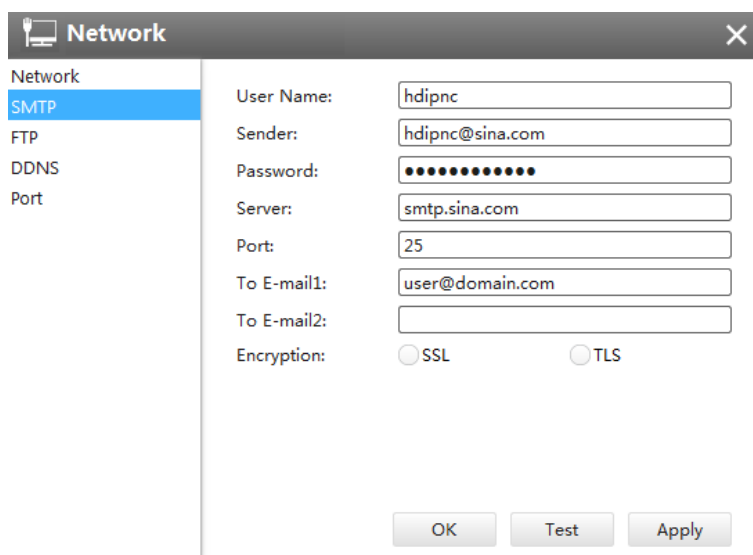
The image shows a 'Network' configuration window. It contains the following fields and options:

- Network configuration options: Manual, DHCP
- IP Address: 192.168.199.60
- Subnet Mask: 255.255.252.0
- Gateway: 192.168.199.1
- DNS: 8.8.8.8
- Buttons: Apply

図 3-2-40 ネットワーク

[SMTP]

アラームビデオファイルは、SMTP サーバーを介して特定のメールアカウントに送信されます。使用する前に SMTP 設定が正しく設定されていることを確認してください。



The screenshot shows a 'Network' configuration window with a sidebar on the left containing 'Network', 'SMTP', 'FTP', 'DDNS', and 'Port'. The 'SMTP' option is selected. The main area contains the following fields and options:

- User Name:
- Sender:
- Password:
- Server:
- Port:
- To E-mail1:
- To E-mail2:
- Encryption: SSL TLS

At the bottom, there are three buttons: 'OK', 'Test', and 'Apply'.

図 3-2-41 SMTP

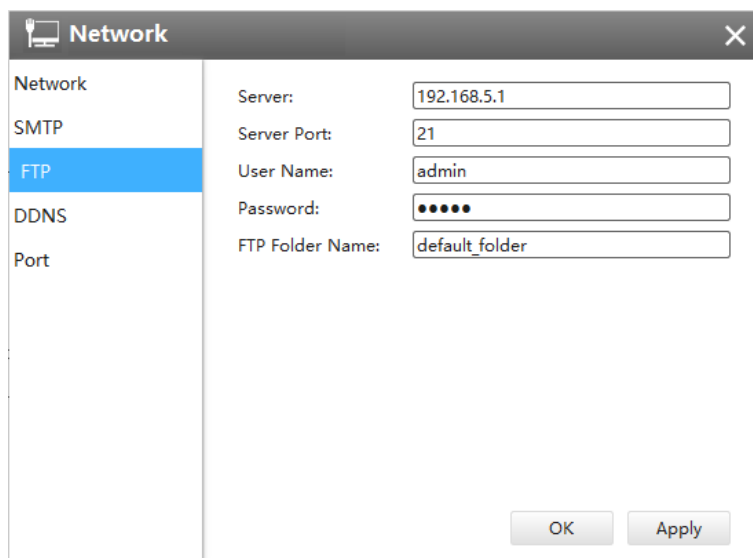
SMTP ページの項目の意味は、以下の表を参照してください：

表 3-2-8 SMTP

項目	機能説明
User Name	送信者の名前通常はアカウント名と同じです
Sender	電子メールに添付されたビデオファイルを送信するための電子メールアドレス
Password	送信者のパスワード
Server	SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名（例：smtp.gmail.com）
Port	SMTP サーバーのポート。SMTP のデフォルトの TCP / IP ポートは 25 です（保護されていません）。SSL/TLS ポートの場合は、使用するメールによって異なります
To E-mail	ビデオファイルを受信するための電子メールアドレス
Encryption	SMTP サーバーで必要な場合は、チェックボックスをオンにして SSL または TLS を有効にします

[FTP]

アラームビデオファイルは特定の FTP サーバーに送信されます。使用する前に FTP 設定が正しく設定されていることを確認してください。



The screenshot shows a 'Network' configuration window with a sidebar on the left containing 'Network', 'SMTP', 'FTP', 'DDNS', and 'Port'. The 'FTP' option is selected and highlighted in blue. The main area contains the following fields:

- Server: 192.168.5.1
- Server Port: 21
- User Name: admin
- Password: masked with dots
- FTP Folder Name: default_folder

At the bottom right, there are two buttons: 'OK' and 'Apply'.

図 3-2-42 FTP

FTP ページの項目の意味は、以下の表を参照してください。：

表 3-2-9 FTP

項目	機能説明
Server	FTP サーバーアドレス
Server Port	FTP サーバーのポート。一般的には 21
User Name	FTP サーバーへのログインに使用されたユーザー名
Password	利用者パスワード
FTP Folder Name	FTP サーバー上でビデオがアップロードされる場所のパス

[DDNS]

DDNS を使用すると、IP アドレスではなくドメイン名を介してカメラにアクセスできます。IP アドレスを変更し、ドメイン情報を動的に更新します。プロバイダからアカウントを登録する必要があります。

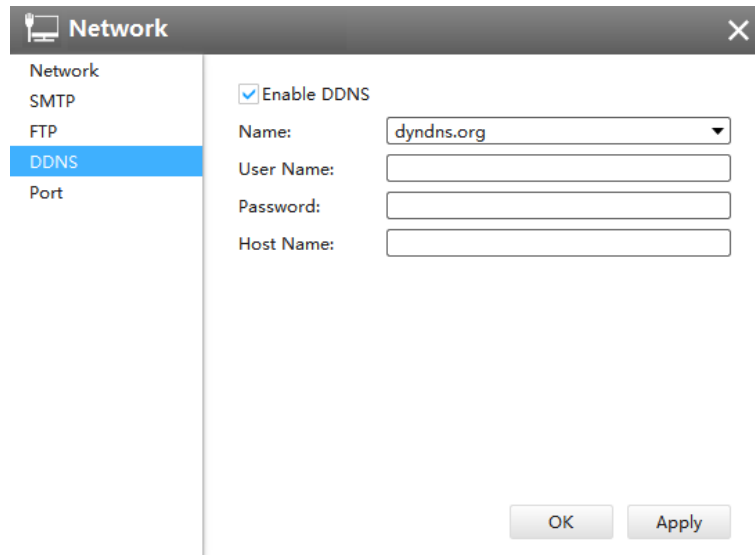


図 3-2-43 DDNS

DDNS ページの項目の意味は、以下の表を参照してください。：

表 3-2-10 DDNS

項目	機能説明
Enable DDNS	チェックボックスをオンにして DDNS サービスを有効にします
Name	今から DDNS をサポート dyndns.org、freedns.afraid.org、www.no-ip.com、www.zoneedit.com、そしてカスタマイズ
User name	DDNS プロバイダーから取得したアカウント名
Password	アカウントパスワード
Host name	アカウントで有効になっている DDNS 名

[ポート]

ここで HTTP と RTSP のポートを設定できます：

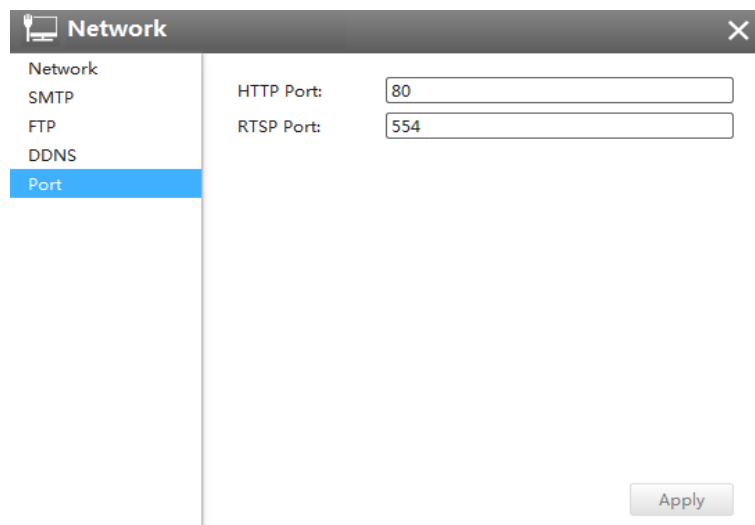


図 3-2-44 ポート

👤 ユーザー

ユーザーには、Admin、Operator、Viewer の3つのレベルがあります。管理者を削除することはできませんし、パスワードのみを変更することができます。オペレータとビューアは追加、編集、削除することができます。

User Name	Authority
admin	Admin
operator	Operator
viewer	Viewer

User Name:

Password:

Confirm Password:

User Level Admin Operator Viewer

OK Apply Delete

図 3-2-45 ユーザー

✂ システム

システムページは以下のとおりです：

System

Device Name:

Product Model: MS-C4473-PB

Hardware Version: V1.0

Software Version: 40.7.0.63

MAC Address: 1C:C3:16:21:03:8E

OK Apply

Maintenance

Reboot the device:

Reset settings:

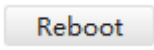
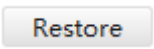
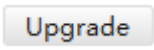

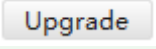
Firmware File:

Restore after upgrading

図 3-2-46 システム

システムページの項目の意味は、下の表を参照してください：

表 3-2-11 システム

項目	機能説明
Device Name	デバイス名はカスタマイズできます。それはビデオファイルのファイル名に見られます
Product Model	カメラの製品モデル
Hardware Version	カメラのハードウェアバージョン
Software Version	カメラのソフトウェアバージョンはアップグレードすることができます
MAC Address	メディアアクセス制御アドレス
	ボタンをクリックしてデバイスを再起動します
	ボタンをクリックして設定をデフォルトの設定にリセットします
	ボタン  をクリックして PC からファームウェアファイルをインポートし、ボタン  をクリックしてアップグレードします

3.3 ユーザー

管理者のパスワードの編集のみが許可されている間は、Operator または Viewer アカウントを追加、編集、削除できます。ユーザーの追加ページは以下のとおりです：

The screenshot shows the 'Add User' dialog box. It contains the following elements:

- User Information:**
 - User Type: Operator (dropdown menu)
 - User Name: [text input field]
 - Password: [text input field]
 - Confirm Password: [text input field]
- User Permission:**
 - Channel Permission:** Expanded to show Live View, Playback, and PTZ.
 - Menu Permission:** Expanded to show Live View, Playback, Devices, Device Config, Users, E-Map, and Logs. All these items are checked.
- Channel Permission:** An empty rectangular area on the right side of the dialog.
- Buttons:** OK and Cancel buttons at the bottom right.

図 3-3-1 ユーザー

4. ビュー

4.1 ライブビュー

ライブビューインターフェイスに PTZ、画像設定、ビュー設定、カルーセルのアイコンがあります。ライブビューインターフェイスは図 4-1-1 のようになります。:



図 4-1-1 ライブビュー

デバイスを追加したら、デバイス名をドラッグまたはダブルクリックしてウィンドウを表示し、それらのライブビューを表示できます。1/4/8 (1+7) (4+4) /9/16/36/64 ビューウィンドウはあなたの必要性を満たすために設定することができます。またあなたはすべてのレイアウトを再設計することができますカスタムレイアウト機能。


ツールバーのアイコンは以下のとおりです :


















図 4-1-2 ツールバー

アイコンの説明は以下の表を参照してください :

表 4-1-1 ツールバー

項目	機能説明
	セカンダリストリームですべてのチャンネルを再生

	再生中のチャンネルをすべて停止します
	カーソルモード
	ボタンをクリックするとライブビューのデジタルズームが有効になります
	PTZ モード
	魚眼レンズモード
	再生中のチャンネルの画像設定
	ビューを保存、現在のビューを保存して古いビューを置き換えます
	新しいビュー、新しいビューを作成します
	カルーセル
	全画面表示
	マルチスクリーン、異なる機能を備えた最大4つのスクリーン： アラーム画面、ライブビュー画面、フルスクリーン。 識別ボタンをクリックして、対応する画面のモニターを識別するためのサポート。
	1/4/9 ウィンドウズボタン
	ボタンをクリックしてディスプレイウィンドウのオプションをもっと見る
	ボタンをクリックしてカスタムレイアウトを描きます
	[前ページ]/[次ページ]ボタン

4.1.1 ライブビューインターフェース

デバイス

ライブビューの[デバイス]列には、現在どの種類のデバイスがCMSに接続されているかが表示されます：

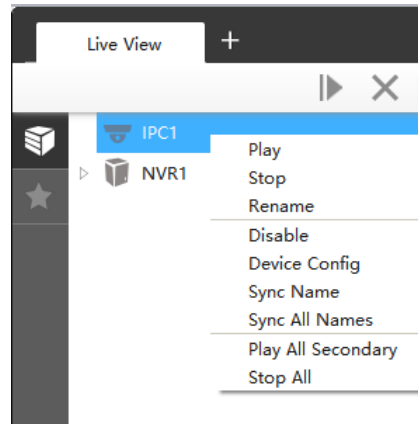
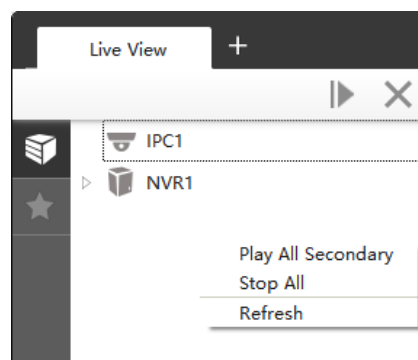


図 4-1-3 ライブビューデバイス

項目	機能説明
Play	選択したデバイスのライブビューを再生する
Stop	選択したデバイスのライブビューを停止する
Rename	リスト上のカメラの名前をリセットする
Disable	デバイスからログアウトする
Device Config	カメラを設定する
Sync Name	デバイス名をデバイスと同期させる
Sync All Name	すべての名前をデバイスと同期させる
Play All Secondary	すべてのライブビューを再生する
Stop All	ライブビューをすべて停止する

デバイスリストの空白部分を右クリック：



項目	機能説明
Play All Secondary	すべてのライブビューを再生する
Stop All	ライブビューをすべて停止する
Refresh	デバイスのステータスを更新する

デバイスモードでデバイスを表示する手順があります。

ステップ1：デバイスが利用可能であることを確認してください。

ステップ2：表示するウィンドウを1つ選択します。

ステップ3：カメラを右クリックして[再生]を選ぶと表示されます。NVRを選択すると、NVRにリンクされているすべてのカメラを表示するための[すべて再生]があります。デバイスをダブルクリックするか、選択したウィンドウにドラッグすることもできます。

表 4-1-2 デバイスのアイコンの意味

項目	機能説明
	接続されているカメラ/ NVR
	接続されていないカメラ/ NVR
	ログアウトするカメラ/ NVR
	リストボタン、ボタンをクリックして NVR にリンクされているすべてのカメラを一覧表示/非表示にします
	トリガーモーション検知ステータス

★ ビュー

右クリックします：

- Play View
- Delete View
- Rename View
- Save
- Save as...

項目	機能説明
Play View	ビューを再生します
Delete View	ビューを削除します
Rename View	ビューの名前を変更します
Save	現在のビューを保存して古いビューを置き換えます

Save as

現在のビューを新しいビューに保存します

ビューを使用すると、ライブビューをより効率的に監視および管理できます。ビューを設定することで、ライブビューを管理するための時間を節約できます：

ステップ1：新しいビューを作成するには、[新しいビュー]ボタン★をクリックします。



ステップ2：デバイスパートに従ってカメラを表示します。

ステップ3：ライブビューを保存するには、[ビューを保存]ボタン★をクリックします。ビューを右クリックして [再生ビュー] を選ぶことができます。

注意

- NVR をダブルクリックすると、NVR にリンクされているすべてのカメラが表示されます。
- ウィンドウが選択されると、それはボーダーカラーが白に変わります。

カスタムレイアウト

ボタン をクリックしてカスタムレイアウトを追加するために  Config をクリックすると、ページは以下ようになります。

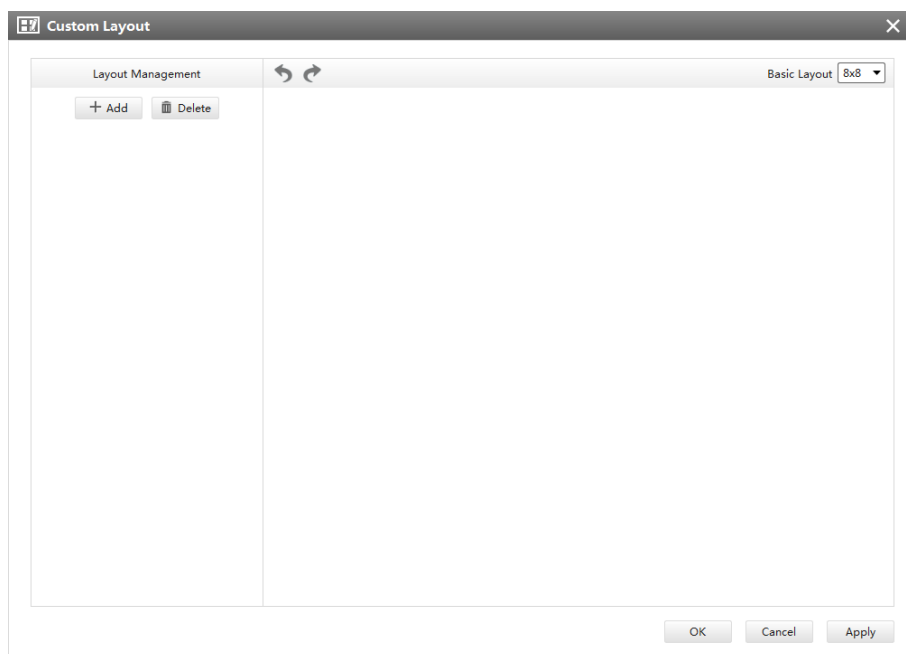



図 4-1-4 カスタムレイアウトの追加

 クリックして新しいレイアウトを作成します。デフォルトでは 8 x 8 のレイアウトが表示されます。マウスをドラッグアンドドロップしてグリッドを1つのボックスにまとめ、完了したら [OK] をクリックします。

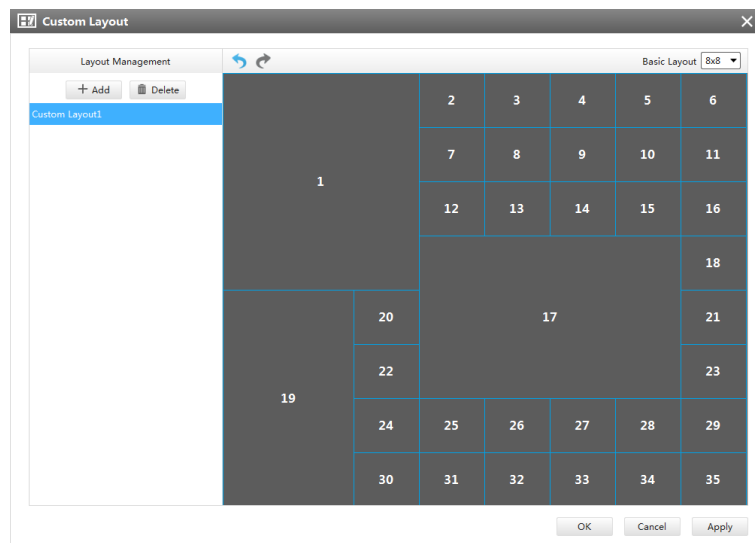



図 4-1-5 新しいレイアウトを作成

最後の手順に戻るには、[やり直し]ボタンと[元に戻す]ボタン  をクリックします。
 左側のリストにある名前をダブルクリックすると、レイアウトの名前を変更できます。

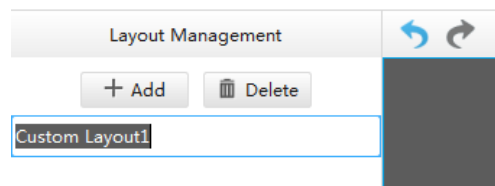









図 4-1-6 カスタムレイアウトの名前を変更する

変更後、[適用]または[OK]をクリックしてカスタムレイアウトを保存します。
 ライブビューページに戻ると、新しいレイアウトがカスタムレイアウトボタン  に表示されます。

4.1.2 ライブビューの表示設定

ライブビューウィンドウのツールバー:

-  記録開始/停止
-  スナップショット
-  全画面表示
-  ライブビューを停止する
-  音声を無効/有効にする

メニューボタン→[設定]をクリックして録画ファイルとスナップショットファイルを保存するパスを設定すると、ファイルは日付順にソートされます。

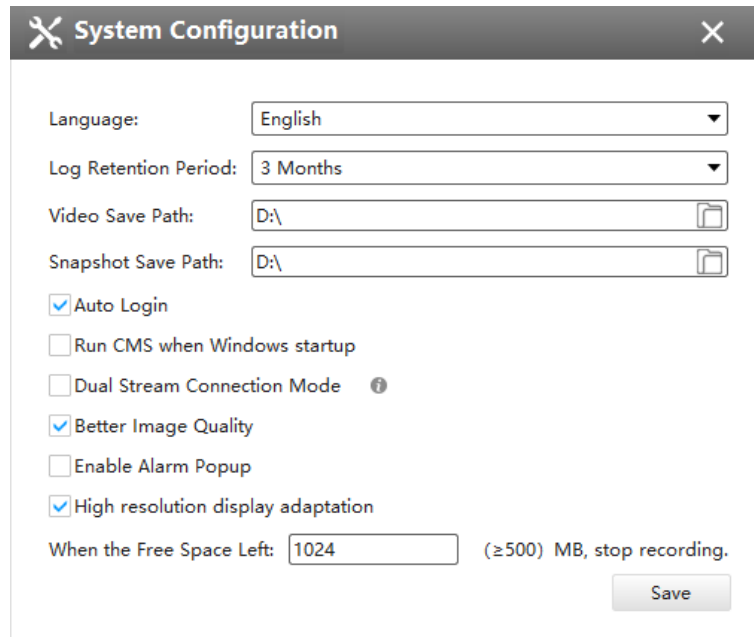
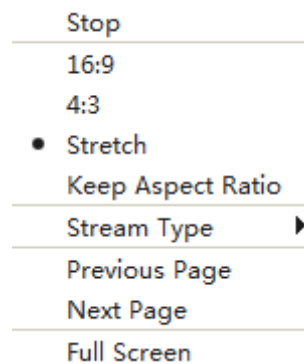


図 4-1-4 システム設定

ライブビューウィンドウを右クリックすると、インターフェースは以下のようになります：



項目	機能説明
Stop	ライブビューの再生をやめる
16:9	長さとの比率は 16 : 9
4:3	長さとの比率は 4 : 3
Stretch	窓に合わせてサイズ
Keep Aspect Ratio	サイズを元の縦横比と同じにする
Stream Type	3つのストリームタイプが利用可能です
Previous Screen	前の画面に戻る

Next Screen	すべてのライブビューを再生する
Full Screen	全画面でウィンドウを表示する

📍 PTZ

PTZ ボタン📍をクリックすると、選択されたウィンドウの左下隅に同じボタンがあります。ウィンドウ内のボタンをクリックすると、PTZ 機能インターフェースが表示されます。ネットワークカメラが PTZ カメラの場合、インターフェースは以下のとおりです。

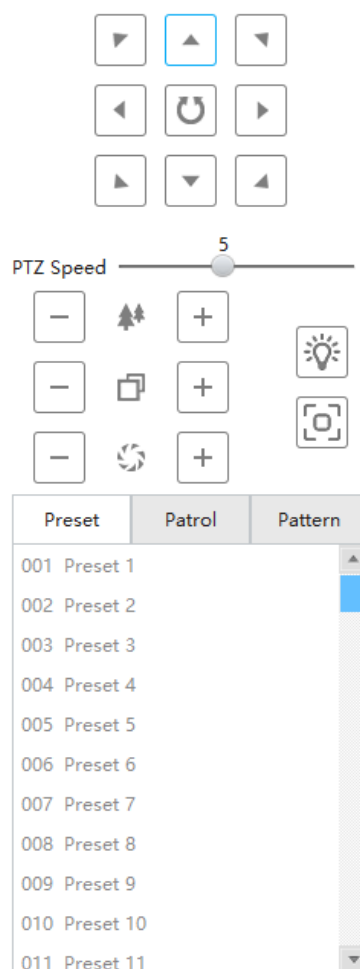


図 4-1-5 PTZ-1

ネットワークカメラがリモートフォーカスおよびズームカメラで、PTZ カメラではない場合、インターフェースは次のようになります：

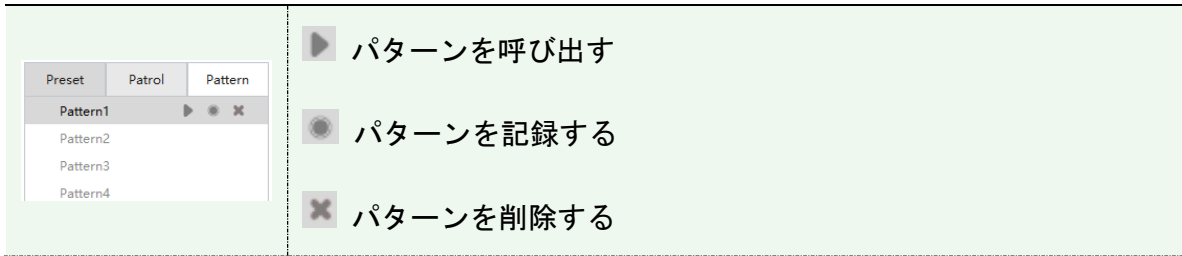


図 4-1-6 PTZ-2

項目の意味は以下の表を参照することができます：

表 4-1-3 PTZ

項目	機能説明
	ナビゲーションキーは方向を制御するために使用されます。回転キーは自動回転に使用されます。
	パン/チルト動作の速度を 1 から 10 の範囲で調整する
	ズームイン/ズームアウトするには -/+をクリック
	レンズの近くまたは遠くに焦点を合わせるためにクリック
	アイリス調整
	30 秒の照明用白色 LED をクリックして開閉します。
	オートフォーカス
	現在のプリセットの設定を保存する プリセットを削除する プリセットを呼び出す
	パトロールを呼ぶ パスを設定する パスを削除する



👁️ 魚眼レンズ

魚眼レンズボタン👁️をクリックすると、選択したウィンドウの左下隅に同じボタンが表示されます。ウィンドウ内のボタンをクリックすると、Fisheye 機能インターフェースが表示されます。魚眼カメラ専用です。インターフェースは以下のとおりです：

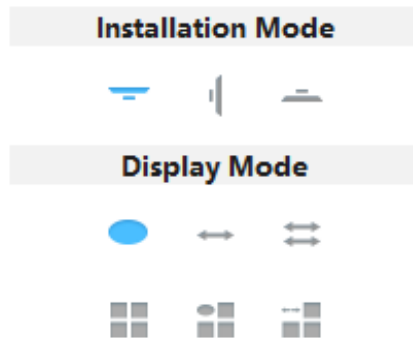











図 4-1-7 魚眼


アイコンの意味は以下の表を参照してください：

表 4-1-4 魚眼

項目	機能説明
	天井取り付けをクリックして選択
	壁掛けをクリックして選択
	フラットマウントをクリックして選択
	元の魚眼ビューのライブビューを選択
	360° パノラマビューのライブビューを選択
	2つの180° パノラマビューのライブビューを選択

	4つのリージョナルビューのライブビューを選択
	元の魚眼ビュー1つとリージョナルビュー3つのライブビューを選択
	1つの360° パノラマビューと3つのリージョナルビューのライブビューを選択

画像

画像ボタンをクリックすると、選択したウィンドウの左下隅に同じボタンが表示されます。ウィンドウ内のボタンをクリックすると、Image 機能インターフェイスが表示されます。インターフェイスは以下のとおりです：

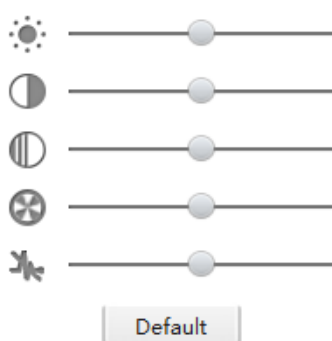







図 4-1-8 画像

アイコンの意味は以下の表を参照してください：

Table 4-1-5 Image

項目	機能説明
	輝度
	コントラスト
	飽和度
	鋭利度
	ノイズ減少

4.2 再生

CMS は再生をサポートしています。それはデバイス上の記録されたファイルを再生することができます、再生ページは以下の通りです：

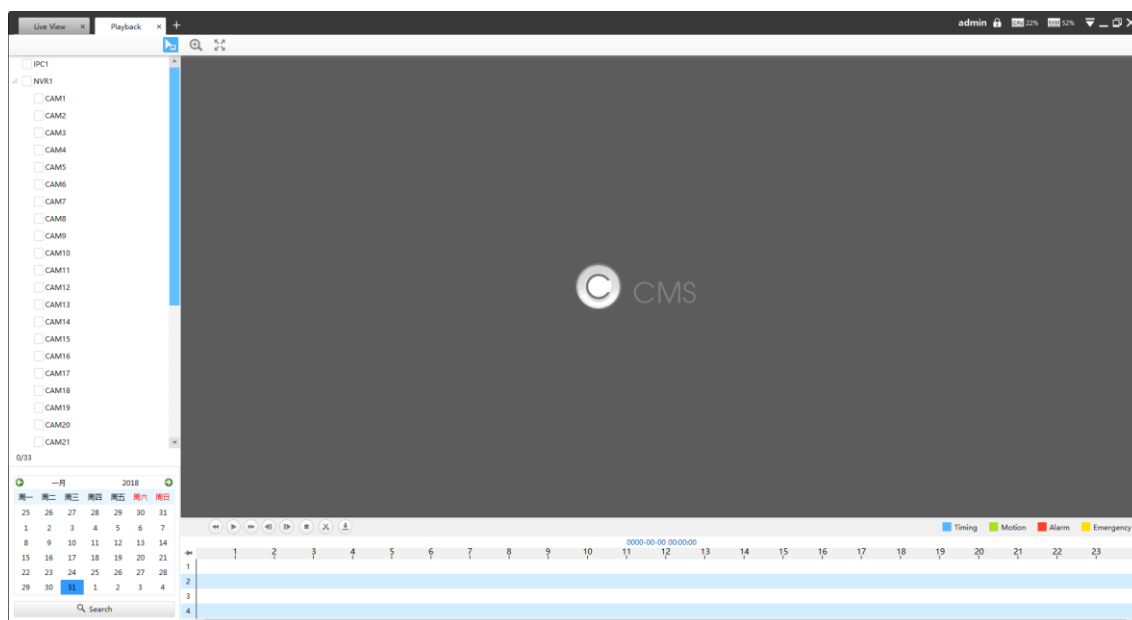




図 4-2-1 再生

録画ファイルを再生するには、以下の手順を参照してください：


ステップ 1： デバイスのチェックボックスをチェックして目的のデバイスを選択します。NVR には、追加されたカメラをリストするためのリストボタン  があります。


ステップ 2： 書体が青である日付を選択します（青はレコードファイルがあり、黒はファイルがないことを意味し、赤は週末を意味します）、日付が選択されると背景は青に変わります。それから記録されたファイルを見つけるために検索ボタンをクリックしてください。

ステップ 3： タイムラインをチェックして再生する時間を選択します。異なるレコードファイルを表す 4 色があります。ボタン  をクリックすると、前の/次のページのチャンネルが表示されます。タイムライン上にマウスを置き、上下にスクロールして時間を拡大/縮小します。

ステップ 4： ウィンドウが選択されるとウィンドウの枠線が白に変わります。最初のウィンドウはデフォルトウィンドウです。

ステップ 5： 再生ボタンをクリックして再生します。スピードダウン、スピードアップ、シングルステップがあります。

ステップ 6： NVR を選択し、カメラの再生を選択します→選択したタイムライン上でマウスを左クリック→カットボタン  をクリック→別の場所でもう一度左クリ

ックして再生ファイルの一部をカットできます→ダウンロードをクリック NVR再生ファイルをバックアップするためのボタン。

複数のチャンネルに録画がある場合は、[ダウンロード]ボタンをクリックした後、ダウンロードするチャンネルを選択できます。ページは以下の通りです：

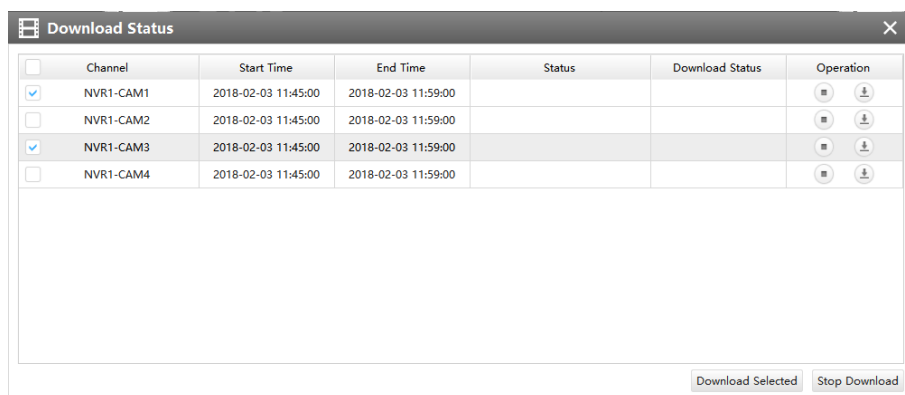
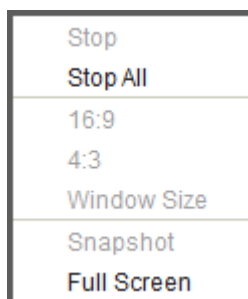


図 4-2-2 ダウンロード

再生中にウィンドウを右クリックすると、以下のようにインターフェイスがポップアップ表示されます：



項目	機能説明
Stop	放送停止
Stop All	すべての再生ウィンドウを停止する
16:9	長さとの比率は 16 : 9
4:3	長さとの比率は 4 : 3
Window Size	窓に合わせてサイズ
Snapshot	スナップショットをキャプチャする
Full Screen	全画面再生ウィンドウ

5. ツール

5.1 電子地図

この部分では、電子地図を追加して、その地図にさまざまなカメラを描画できます。[マップ]ウィンドウでのマップグラフィックの表示とマップのサイズを制御できます。また、ウィンドウ内でマップを移動して、見たいエリアを表示することもできます。E-Map ページは以下の通りです：

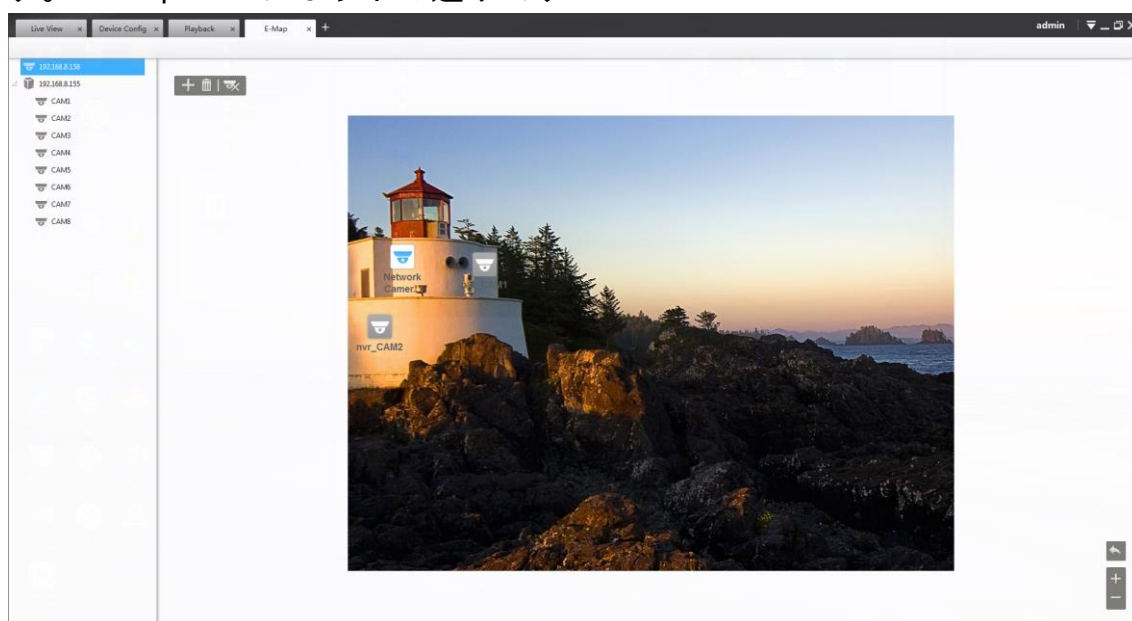






図 5-1-1 電子地図


ステップ 1：電子地図を追加するために追加ボタン  をクリックしてください

ステップ 2：地図にさまざまなカメラを描く

ステップ 3：ズームイン/ズームアウトボタン  またはマウスホイールを使ってマップサイズを調整し、[サイズ変更] ボタン  をクリックしてマップのサイズを復元します。

ステップ 4：ホットスポットを右クリックし、[再生] を選択してホットスポットのライブビューを再生します。

ステップ 5：ホットスポットを右クリック、[削除] を選択、またはホット削除ボタン  をクリックしてホットスポットを削除します。

ステップ 6：電子地図を削除するために Map Delete ボタン  をクリックしてください。

5.2 ログ

ログには、Web 経由でカメラにアクセスした時間と IP に関する情報が含まれています。ログページは以下のとおりです：

No.	Time	User	Main Type	Sub Type	Device Name	Device Type	Channel	Message
1	2018-02-03 13:10:47	admin	Operation Log	Start Live View	NVR1	NVR	8	
2	2018-02-03 13:10:47	admin	Operation Log	Start Live View	NVR1	NVR	7	
3	2018-02-03 13:10:47	admin	Operation Log	Start Live View	NVR1	NVR	6	
4	2018-02-03 13:10:47	admin	Operation Log	Start Live View	NVR1	NVR	5	
5	2018-02-03 13:10:47	admin	Operation Log	Start Live View	NVR1	NVR	4	
6	2018-02-03 13:10:47	admin	Operation Log	Start Live View	NVR1	NVR	3	
7	2018-02-03 13:10:47	admin	Operation Log	Start Live View	NVR1	NVR	2	
8	2018-02-03 13:10:47	admin	Operation Log	Start Live View	NVR1	NVR	1	
9	2018-02-03 13:10:47	admin	Operation Log	Start Live View	NVR1	NVR	0	
10	2018-02-03 13:10:47	admin	Operation Log	Start Live View	IPC1	IPC	0	
11	2018-02-03 13:10:44	admin	Operation Log	Stop Live View				
12	2018-02-03 13:10:44	admin	Operation Log	Stop Live View				
13	2018-02-03 13:10:44	admin	Operation Log	Stop Live View				
14	2018-02-03 13:10:44	admin	Operation Log	Stop Live View				
15	2018-02-03 13:10:44	admin	Operation Log	Stop Live View				
16	2018-02-03 13:10:44	admin	Operation Log	Stop Live View				
17	2018-02-03 13:10:44	admin	Operation Log	Stop Live View				
18	2018-02-03 13:10:44	admin	Operation Log	Stop Live View				
19	2018-02-03 13:10:44	admin	Operation Log	Stop Live View				
20	2018-02-03 13:10:44	admin	Operation Log	Stop Live View				
21	2018-02-03 11:59:41	admin	Operation Log	Start Live View	NVR1	NVR	8	
22	2018-02-03 11:59:41	admin	Operation Log	Start Live View	NVR1	NVR	7	
23	2018-02-03 11:59:41	admin	Operation Log	Start Live View	NVR1	NVR	6	
24	2018-02-03 11:59:41	admin	Operation Log	Start Live View	NVR1	NVR	5	

図 5-2-1 ログ

項目の意味は以下の表を参照することができます：

表 5-2-1 ログ

項目	機能説明
Main Type	主なログの種類は、[All]、[System Log]、[Operation Log]の3つです。
Sub Type	メインタイプが選択されていることを前提として、サブタイプを選択してログの範囲を絞り込みます
Start Time	タイムログが始まる
End Time	タイムログが終了する
	一致したログを検索するにはボタンをクリックしてください
	ログファイルをエクスポートする

ログをクリックすると、ログ ID、時間、ユーザー、メインタイプ、サブタイプ、デバイス名、デバイスタイプなどの項目ごとにログを一覧表示できます。

6. サービス

私たちはお客様にリアルタイムで包括的な技術サポートサービスを提供します。エンドユーザーは、技術サポートを受けるためにあなたの地元のディーラーに連絡することができます。販売代理店および再販業者は、技術サポートを受けるために当社に直接連絡することができます。

7. トラブルシューティング

番号	トラブル内容	確認手順
1	カメラに接続できない	<p>■電源やLAN ケーブルなどの配線状況の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラへの電源が確実に供給されているか確認してください ・カメラと接続するパソコン等がLAN ケーブルや無線LANなどで同じネットワークに接続されているか確認してください <p>■WindowsPC を使用した確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付属アプリケーションの「Smart Tools」でカメラを検索し、IP 設定が正しく設定されているか確認してください ・ブラウザにてカメラのIPアドレスが正しく入力されているか確認してください ・推奨ブラウザの「Internet Explorer 11」を使用しているか確認してください <p>■NVR を使用した確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラ検索でカメラのIP設定が正しく設定されているか確認してください
2	ログインパスワードを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ・リセットボタンにて初期化をして初期ユーザー名とパスワードで再度ログイン、設定してください ユーザー名「admin」 パスワード：「pass1234」
3	カメラの映像が表示されない	<p>■WindowsPC を使用した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラから表示するパソコン間の通信帯域が十分確保されているか確認してください ・ライブ画面よりActiveXをダウンロード、インストールしブラウザを再起動してください <p>■NVR を使用した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NVR とモニター間のケーブルが正しく接続しているか確認してください ・モニターの電源が入っているか確認してください ・NVR のWebUI（ブラウザでの画面）ではH.264以外の設定だと正しく表示されない場合があります カメラの映像設定を「H.264」に設定してください ・解像度別に同時表示できる上限数があります 仕様書をご確認の上、接続しているカメラの解像度を再設定してください

4	音声が出ない	<p>■WindowsPC を使用した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WindowsPC の音量設定を確認してください（「0」になっていないか、ミュートになっていないか） ・ カメラの設定で音声が ON になっているか確認してください <p>■NVR を使用した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カメラの設定で音声が ON になっているか確認してください ・ モニターの音量設定を確認してください（「0」になっていないか、ミュートになっていないか）
5	映像の明るさや色合いがおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定画面からカメラの映像に関する設定（明るさや RGB、逆光補正等）を変更してください